

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
B1G07-275	2007/10/25	2012/06/04	ガスこんろ (LPガス用)	当該機器に着火しようとした際に、炎が出て壁の一部を焼損し、1名が火傷を負った。	火災	軽傷1名	群馬県	○当該製品の3つの器具栓(種火用、内側バーナー用、外側バーナー用)は開いていた。 ○使用者は3つの器具栓を開いた際にガス漏れ時に発生する「シュー」という音に気付いていた。 ○当該製品に焼損した痕跡は認められなかった。 ●事故原因は、当該製品の全ての器具栓を開放して点火操作をしたが不着火となり、しばらくした後不着火に気づき、再度点火操作をした際に、滞留していたガスに引火して火災に至ったものと推定される。	
B1G07-274	2007/07/29	2010/11/5	ガスふろがま (LPガス用:屋外式)	ベランダに設置されたガスふろがまから出火し、近くにあった可燃物が焼損した。	有	なし	兵庫県	調査の結果、単純には外れない当該製品の台(バーナー部)と本体(熱交換器)のはめ合わせ部分が外れてできた隙間が焼損しており、何らかの強い外力により隙間が生じ、周辺にあった可燃物に延焼したものと判断した。	
B1G07-273	2007/09/10	2010/11/5	ガス給湯用リモコン	ガス給湯器を設置した家屋において、床下の当該機器用リモコン配線付近の柱が焦っていた。	有	なし	岩手県	床下焼損部のリモコン配線の施工不良により、リモコン配線の被覆が損傷し発火に至ったものであり、施工不良による事故と判断した。	
B1G07-272	2007/12/20	2009/8/6	ガスふろがま (LPガス用:CF式)	当該機器を使用中に、ふろがま付近から出火した。出火原因は、空だきによるものであったが、使用者が意図せず空だき安全装置を外してしまっていたため、発火した。	機器焼損 浴室周辺焼損	無	広島県		
B1G07-271	2007/12/21	2009/8/6	ガスこんろ (LPガス用:卓上型)	ガスコンロ付近から出火し、木造2階建て住宅約260㎡を半焼した。 調査の結果、当該製品には出火の痕跡は認められず、外部から焼損したものと判断された。	住宅約260㎡を半焼	軽症1名	秋田県		
B1G07-270	2007/10/10	2009/8/6	ガス瞬間湯沸器 (LPガス用:屋外式)	当該製品を使用し、シャワーで子供を洗っていたら、熱い湯が出てきて子供が火傷を負った。	無	火傷 (軽傷)	佐賀県	調査の結果、当該製品に故障等の異常は認められなかった。当該製品は、水量を一定以下にすると、設定した温度より出湯温が上がるが、取扱説明書には、シャワー使用時には手で湯温を確認してから使用する旨、記載されている。	METI発表では「重傷」と記載されている。
B1G07-269	2007/09/18	2009/8/6	ガスふろがま (LPガス用:CF式)	山荘の従業員が風呂から上がってこないで、様子を見に行き浴室のドアが閉まったまま風呂場の中で意識を失ったまま倒れているのを発見した。病院に搬送されたが、一酸化炭素中毒器具内部の焼損	無	CO中毒死 1名	富山県	調査の結果、当該製品は換気口・給気口や窓のないコンクリート製の建築物に、排気ガスが室内に排出される状態で設置されていたため、燃焼空気が足らずに不完全燃焼状態となって事故に至ったものと判断した。	排気が取られていなかった。(施工上)
A2G07-268	2007/09/25	2009/2/16	ガス給湯付ふろがま (LPガス用)	器具内部の焼損	器具焼損	無	滋賀県		リコール品 (2007/06/09)
B2G07-267	2007/03/01	2009/2/16	ガス瞬間湯沸器 (LPガス用:屋外式)	缶体(熱交換機)からの水漏れとファンモータのモータコイル部が焼けた。	湯沸器以外被害 が有りません	無	滋賀県		
B1G07-266	2007/12/12	2009/1/7	ガス瞬間湯沸器 (LPガス用:元止め式)	使用者が30分位お湯を出し続けていたところ、目眩がし気分が悪くなり就寝した。翌朝、病院で一酸化炭素中毒(軽症)の診断を受けた。使用者は ①不完全燃焼防止装置がたびたび作動しその都度器具が停止していたが使用していた。 ②室内に設置してあった警報機を自ら取り外していた。 ③設置してあった換気扇を自ら取り外していた。 ④保安点検業者から器具の買換えを勧められていたがそのまま使用していた。 警察は使用者の使い方に問題があり、当該機器には問題が無いとして調査終了したとの事。	無	有	静岡県	調査の結果、バーナ内部に張ったクモの巣により給排気バランスが崩れ、燃焼排ガス中に一酸化炭素が多量に含まれたものであった。しかしながら、CO警報機が鳴ってうるさいと警報機を取り外し、異常を認識しつつ換気扇を外し換気を行わずに使用を続けていたため事故に至ったもので、使用上の問題であり、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G07-265	2007/11/12	2009/1/7	ガス瞬間湯沸器 (都市ガス用:屋外式)	需要家が給湯器を使用するため点火操作を繰り返した際、煙が出たため消火した。 調査の結果、本体前板が外され、サービス会社以外の者の修理行為等、何らかの外力により変形された燃焼室前板の隙間より炎が溢れて火災に至ったもので、製品に起因した事故ではないと判断された。	器具一部焼損	無	東京都	調査の結果、本体前板が外され、サービス会社以外の者の修理行為等、何らかの外力により変形された燃焼室前板の隙間より炎が溢れて火災に至ったもので、製品に起因する事故ではないと判断した。	
A2G07-264	2007/11/01	2008/10/30	ガス衣類乾燥機 (都市ガス用)	帰宅したご主人がガス衣類乾燥機からの煙を発見。中の衣類が焦っていた為、取出して水で消火した。事故原因は、衣類乾燥中に発生する静電気の影響により機器に搭載しているマイコンが誤動作し、モーターが停止した状態でバーナーの燃焼が継続することにより、ドラム内の温度が上昇し、衣類の一部が焦げたものと思われる。	衣類のこげ	無	東京都		リコール品 (2008/09/09)

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
A2G07-263	2007/02/18	2008/10/30	ガス衣類乾燥機 (都市ガス用)	ガス衣類乾燥機使用中に異臭がして消防へ通報。事故原因は、衣類乾燥中に発生する静電気の影響により機器に搭載しているマイコンが誤動作し、モーターが停止した状態でバーナーの燃焼が継続することにより、ドラム内の温度が上昇し、衣類の一部が焦げたものと思われる。	衣類の一部溶け	無	東京都			リコール品 (2008/09/09)
B1G07-262	2007/12/20	2008/10/22	ガス瞬間湯沸器 (都市ガス用・屋外式)	給湯器使用時にボンと音がして給湯器から火が見えたとの通報を受け確認すると、給湯器の前面カバーの一部が焦げており機器内部が焼損していた。	機器一部焼損	無	埼玉県	調査の結果、ガス種転換の作業時、本来ついている検圧口のキャップをつけ忘れたことにより検圧口からガスが漏れて火災に至ったものであり、作業時のミスによる事故であると判断した。		
B1G07-261	2007/12/20	2008/10/6	ガスふろがま (都市ガス用・CF式)	当該機器を使用中に、ふろがま付近から出火した。出火原因は、空だきによるものであった。	機器焼損 浴室周辺焼損	無	広島県			
B1G07-260	2007/10/22	2008/10/6	ガストーチ	囲炉裏の炭火を起こすため、当該製品で炭に着火させようとしたところ、爆発し、両手に火傷を負った。	不明	重傷1名	茨城県			他社製ボンベ使用
B1G07-259	2007/07/22	2008/10/6	ガスふろがま (都市ガス用・CF式)	浴槽に水を張り、沸かしている途中でふろがまより出火しふろがまを焼損。ノズルより水が多量に出てきたこと、及び現地の浴室の壁が床面より一定の高さより下が煤けていなかった(消防局からの情報)ことから、ノズルの冠水によりバーナー部の外で燃焼し器具の焼損に至ったものと推測される。	機器焼損	無	千葉県	調査の結果、あふれた水で内部のガス噴射ノズル等が冠水したためガスがバーナー部に供給されなくなり、漏れたガスに何らかの原因で着火し、燃焼したと判断した。		
B1G07-258	2007/06/30	2008/10/6	ガスこんろ (LPガス用:卓上型)	当該機器の下に敷いてあったダンボールが発火した。消防と弊社の現場立会調査の結果、当該機器は焼損が激しくガスの漏洩の有無の確認ができず、また、当該機器が点火状態であったかどうかとも判別できなかった。消防は、原因が特定できず調査終了。	無	無	広島県			
B1G07-257	2007/05/14	2008/10/6	ガスこんろ (LPガス用:卓上型)	住宅から出火して、同住宅と隣接するふろ場、物置を全焼した。消防は、使用者が当該機器で湯を沸かしたまま外出したことが原因であり、引火については、当該機器の後方10~20cmのところにベニヤ製の壁があり、それに低温着火したとのことで調査終了。尚、弊社の取扱説明書では、周囲に木製などの可燃性の壁がある場合は、15cm以上の離隔距離をとる様に注意喚起している。	有	無	宮城県			
B1G07-256	2007/12/07	2008/6/24	ガスこんろ (LPガス用)	使用者が煮込み調理中に火を消し忘れて外出している間に、換気扇付近から出火した。ゴムホースが何らかの要因で過熱焼損を受け、ガスが流出したことで拡大に至ったと推測され、消防は機器に問題はないとの見解で機器の調査は終了。	有	無	静岡県	調査の結果、当該機器には不備がなく、使用者がコンロで調理中に火を消し忘れたまま外出し、何らかの要因で当該機器のゴムホースが過熱焼損し流出したガスに引火し火災に至ったものと思われる、製品に起因する事故ではないと判断した。		
B1G07-255	2007/12/02	2008/6/20	ガスこんろ (LPガス用:卓上型)	センサー無し側のコンロにて天ぷら油火災発生。消防情報等により、調理中目を離れたスキに出火したものと判断されている。	調理場の天井・壁 6㎡を焼損	煙を吸い 1名が軽症	山梨県			
B2G07-254	2007/11/10	2008/6/12	ガス炊飯器 (都市ガス用)	調理していない炊飯器のプラスチック部分が燃え落ちた。炊飯器がポットに押し付けられ、強制的に燃焼が継続したものと推測される。	器具付近のコード を焼いた	無	神奈川県			
B2G07-253	2007/11/13or200	2008/6/3	ガスこんろ (LPガス用:組込型)	グリルでタイマーを利用して塩鯖を焼いていたところ、ガスビルトインコンロから火が出ているのに気づき慌てて水をかけた。お客様も、グリル皿を洗わず手入れの悪さを認めておられる事から、グリルにたまった油が発火したものと思われる。	製品一部焼損	無	滋賀県			
B1G07-252	2007/06/04	2008/4/24	ガスこんろ (都市ガス用)	業務用機器を使用中の飲食店において、オーナーは火をつけた記憶はないが、その場を離れて1時間後に火事になった。体の一部がぶつかり、器具栓を回してコンロの火がついた可能性がある。鍋の中の食材が発火した。	無	無	北海道	調査の結果、当該機器には不具合はなく、天ぷら油による火災であり、使用者の不注意による事故と判断した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
B1G07-251	2007/12/14	2008/4/23	ガスこんろ (都市ガス用)	使用者が、当該機器右コンロ(調理油過熱防止装置なし側)で、卵焼き用のフライパンを使い調理中、目を離れた間にそのフライパンから火が立ち上がり、消火器で火を消したとのこと。消防は、器具に不備はなかったとして調査終了。	無	無	大阪府	調査の結果、当該機器に不具合はなく、使用者が右コンロで調理中に目を離れたことにより火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G07-250	2007/12/11	2008/4/23	ガスこんろ (ガス種不明)	使用者がカレーを調理中、その場を離れている間に火災に至ったとの事。消防は、当該機器に不備はなかったとして調査終了したとのこと。	有	有	千葉県	使用者が、コンロで調理中、火を消さないまま、その場を離れている間に火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G07-249	2007/11/27	2008/4/23	ガスこんろ (都市ガス用)	木造一部2階建て約120平方メートルの内約50平方メートルを焼いた。けが人はなかったとのこと。消防は、需要家がグリルで魚を焼き、消し忘れをして外出していた間に火災に至ったとし、機器には問題はなかったとの見解で調査終了したとのこと。	有	無	秋田県	使用者が、グリルで調理中、火を消さないまま外出したことにより火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G07-248	2007/12/29	2008/4/22	ガスストーブ (都市ガス用・赤外線)	木造一戸建てを半焼し1名亡くなられた。消防立会いによる、当該ガスストーブの分解調査から、事故品の器具栓は「止」の状態であり、出火当時ガスストーブが使用されていなかった事が確認された。	家屋半焼	1名死亡	埼玉県	調査の結果、出火時には当該製品は使用されていないことが確認出来たため、製品に起因しない事故と判断した。	
B1G07-247	2007/10/18	2008/4/21	カセットこんろ	電源が入った状態の石油ストーブの近くに容器を装着した状態で置いてあったため、容器が加熱され破裂した。	壁、天井	火傷(中程度)	埼玉県	使用者がガスこんろでお湯を沸かしている最中に寝てしまい爆発事故に至ったものであり、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B2G07-246	2007/11/13	2008/4/10	ガス瞬間湯沸器 (都市ガス用・FE式)	シャワー使用中、急に高温のお湯が出て、大腿部に2度の熱傷を負った。	無	有 全治2週間	愛知県		給水圧力の急変が原因と思われる
B1G07-245	2007/08/01	2008/4/4	ガス衣類乾燥機 (都市ガス用)	オイルを使用するマッサージ店で当該機器内のタオルから出火する火災が発生した。事故原因は、オイルが付着したタオルを乾燥し、放置したことによりタオル等に残留しているオイルが酸化熱により発火したものと思われる。取扱説明書でもオイルの付着した衣類等は絶対乾燥機に入れないように記載しており、消費者の誤使用による事故であると判断した。	タオルの 焼損	無	東京都	事故原因は、オイルが付着したタオルを乾燥し、放置したことによりタオル等に残留しているオイルが酸化熱により発火したものと思われる。取扱説明書でもオイルの付着した衣類等は絶対乾燥機に入れないように記載しており、消費者の誤使用による事故であると判断した。	
B2G07-244	2007/06/04	2008/3/27	ガスこんろ (LPガス用)	需要家がコンロを使用した際、無意識のうちにグリルも点火していた為、コンロは消火したが、グリルは点火状態のまま外出をした。その後、家人がグリル排気口から炎が出ているのに気付く、消火器で火を消したとのこと。消防は取扱ミスと判断したとのこと。	周囲の壁を焦がした	無	徳島県		
B2G07-243	2007/12/22	2008/3/19	ガスこんろ (LPガス用)	当該機器でお湯を沸かしていたところ、「ポツ」という音と共に炎が見えた為、コンロを消火しガス栓を閉めたとのこと。現品を調査したところ、ゴム管口のOリングの一部が炭化し、一箇所亀裂があったものの、ゴム管口付近の器具の背面等には煤の付着や塗装の熱変色は認められず、Oリングは以前から一部炭化していたことによりガス漏れが生じたものと推測したが、原因の特定には至らず。	無	無	神奈川県		
B1G07-242	2007/12/25	2008/3/18	ガス貯湯湯沸器 (LPガス用)	店舗への搬入業者が、当該機器からの出火を発見し消防に通報した。消防によると、当該機器内の火元と特定された箇所(接続部)は、取付業者による脱着に伴った接続ネジの締め付け不良でガス漏れが起こり引火したとの見解で、機器自体に異常はなかったとして調査終了したとのこと。	有	無	埼玉県	修理事業者による接続ネジの締め付け不良があり、そこから漏れたガスに引火し、火災に至ったものと思われることから、修理ミスによる事故であると判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
B1G07-241	2007/12/21	2008/3/18	ガスこんろ (LPガス用)	当該機器の消し忘れによる失火で、こんろの下が燃え、屋根裏まで火が上がり消火をしたが、その後再燃し全焼に至ったとのこと。コンロ台は自作の木製台であった。 消防によると、調査結果の詳細は公表できないとのことであったが、問題は初期消火にあり、器具が原因である可能性は少ないとの見解。	有	無	千葉県	使用者が、こんろの火を消さないまま台所を離れたことにより火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G07-240	2007/12/19	2008/3/18	ガスこんろ (ガス種不明)	当該機器のグリルで魚(さんま)を焼いている最中に、グリルの排気口から火が上がってきた為、座布団で消火したとのこと。 使用者は、グリル受け皿に水を入れずに使用し、又、日常の清掃をせず、受け皿には油が蓄積していたことにより、消防では使用者の誤使用が原因で、機器に異常はないとして調査終了した。	有	無	奈良県	事故原因は、使用者が、グリルの水受け皿に水を入れずに使用していたこと、日常の清掃を怠っていたために機器に油が蓄積していたことから、油に引火したものであり、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G07-239	2007/12/15	2008/3/18	ガスファンヒーター (都市ガス用)	お客様の問診でガスファンヒーター点火後5分経ってから、何らかの爆発音と共にファンヒーターが燃え、襖に火移りした。 現場でファンヒーター付近で発見された破裂したスプレー缶が発見された。	機具焼損	使用者が手・顔に火傷(1度)	東京都	事故原因は、使用者が、当該機器の吹き出し口付近にスプレー缶を置いていたことにより、スプレー缶の過熱から爆発・引火に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故と判断した。	
B1G07-238	2007/12/14	2008/3/18	ガスこんろ (LPガス用)	使用者が、当該機器(調理油過熱防止装置なし)のコンロで、天ぷら鍋を火にかけてそのままの状態、目を離れた間に出火し座布団をかぶせて消火したとのこと。 消防は、器具に不備はなく、使用者の取扱不注意が原因との見解で調査終了。	有	有	山形県	使用者が、当該機器で天ぷら調理中に目を離れたことにより火災に至ったものであり、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G07-237	2007/11/26	2008/3/18	ガス給湯器 (LPガス用:屋外式)	居住者が浴室で、心肺停止の状態で見えられ、病院に搬送されたが死亡が確認された。事故原因は、屋外設置型の瞬間湯沸器を屋内で使用していたことによる排気ガスでの一酸化炭素中毒と推定	無	CO中毒	広島県	屋外設置型の当該機器が、本来禁止されている波板で囲った部屋内に設置されていたため一酸化炭素中毒に至ったものと思われ、使用方法に原因がある事故であると判断した。	
B1G07-236	2007/11/14	2008/3/18	ガスこんろ (LPガス用)	当該機器のグリル庫内で発火しグリルのガラス扉が割れたとのこと。消防は、使用者がグリルを使用した後の消火の際に、間違えて別箇所のボタンを押していた為、グリルが消火されておらず、庫内に溜まっていた油が発火し火災に至ったということで、使用者の取扱不注意が原因として調査終了した。	有	無	京都府	使用者が、グリルの火を消し忘れたため火災に至ったことから、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G07-235	2007/11/13	2008/3/18	ガス瞬間湯沸器 (LPガス用:RF式)	近所の人が、当該機器から出火していることに気づき、ガスボンベを閉めた。原因は屋外機器を、囲まれた元ボイラー室に設置されていたことによる据付不良であった。	有	無	静岡県	施工事業者が、屋外設置型の当該機器をボイラー室内に設置していたため、換気不良から異常燃焼を起こし、機器から火の粉が出ていたものと思われ、施工不良による事故であると判断した。	METI発表での事故発生日は07/10/24
B1G07-234	2007/11/08	2008/3/18	ガスこんろ (LPガス用)	当該機器で天ぷら調理中に火出し、コンロ周りの壁及び天井が一部焦げた。消防は、使用者が調理油過熱防止装置(センサー)がついていない側のこんろで天ぷら調理中に、油を火にかけてそのままその場を離れた取扱不注意が原因で、機器に異常はないとして調査終了した。	有	無	滋賀県		
B1G07-233	2007/11/01	2008/3/18	ガスこんろ (ガス種不明)	木造2階建て住宅の1階台所の壁など約17平方メートルを焼いた。 消防は、当該機器に不備はなく、使用者がグリルで魚を焼いている最中に買い物に出かけ、その場を離れた取扱不注意が原因として調査終了した。	有	無	山梨県	使用者が、グリルの火を消さないまま台所を離れたことにより火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G07-232	2007/11/01	2008/3/18	ガスこんろ (ガス種不明)	住宅が全焼し、2名が軽い火傷を負ったとの事。 消防によると、使用者がグリル使用中にその場から離れたことによる、取扱不注意が原因として調査終了した。	有	有	千葉県	使用者が、グリルの火を消さないまま台所を離れたことにより火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
B1G07-231	2007/10/24	2008/3/18	ガスこんろ (LPガス用)	使用者が当該機器グリルを使用した後、操作ボタンを押し間違えていたが消火されていないままであった。それに加え、ガスホースが当該機器の下を通して接続されていた為、グリル下部のガスホースが、長時間の熱影響を受け焼損し、漏れたガスに引火し拡大に至ったことで消防は使用者の誤使用として調査終了。	有	有	神奈川県	使用者が、グリルの火を消し忘れたため火災に至ったことから、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G07-230	2007/10/02	2008/3/18	ガスこんろ (LPガス用)	木造2階建て住宅約110平方メートルを全焼、車庫兼物置を半焼し、住宅の裏山の一部を焼いた。消防は、当該機器の調理油過熱防止装置(センサー)のついていない側のこんろで調理中に、使用者がその場を離れたことが原因として調査終了。尚、取扱説明書で「火を付けたままの、移動・外出・就寝禁止」と注意喚起をしている。	有	無	北海道	使用者が、こんろの火を消さないまま台所を離れたことにより火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G07-229	2007/09/17	2008/3/18	ガス給湯付ふろがま (都市ガス用・屋外式)	屋食中にベランダから炎が見え、消防に連絡をした。屋外防雨型コンセント部からと見られる。	製品被害	無	岐阜県	調査の結果、出火元と推測されていたコンセント及び電源プラグからの出火ではないことが判明した。また、製品内部からの出火の痕跡は認められず、洗濯物等他の可燃物による火災の可能性があると思われる。	
B1G07-228	2007/08/13	2008/3/18	ガス温水式ルームエアコン (LPガス用)	冷房運転中、屋内漏電ブレーカーが作動した為、屋外に設置してある、室外機外部電源付近より出火。お客様が水をかけて消火した。	室外機一部焼損	無	神奈川県	調査の結果、製品内部の電子部品及び配線に異常はなく、出火原因となる痕跡はなかった。	
B2G07-227	2007/12/30	2008/2/27	ガス迅速継手 (都市ガス用)	・1/30にガス事業者がお客様に新品の炊飯器を配達した際、お客様より『12/30に炊飯器から出火した。』との話があり、ガス事業者殿が当該機器を引き取り調査したところ、接続部のロゴムに焦げ跡があり、微少なガス漏れが確認された。 ・推定原因は、長期間(20年以上)の使用によるロゴムの劣化と、長期間ロゴムに垂直方向の負荷がかかっていたため、ロゴムに歪みが生じ微少のガスが漏れ、炊飯器の火種で着火したものと推測します。	有	無	京都府		
B2G07-226	2007/12/30	2008/2/26	ガス炊飯器 (都市ガス用)	接続具のロゴム部が経年劣化したことにより、漏洩したガスが炊飯器の火に引火し、炊飯器の一部を焼損した。	機器の一部焼損	無	京都府		
B2G07-225	2007/12/24	2008/2/22	ガスバーナ付ふろがま (都市ガス用・BF式)	ふろがまに点火したところ、大きな音がしてふろがまのケーシングが変形した。点火の誤操作によるものと推測される。	一部破損	無	東京都		
B2G07-224	2007/10/22	2008/2/22	ガスふろがま (都市ガス用・CF式)	浴室から臭気がし、煙が見えた。ふろがまに冠水跡が確認されたため、冠水により異常燃焼を起こしたと推測される。	一部破損	無	神奈川県		
A2G07-223	2007/08/28	2008/2/22	ガス給湯器 (LPガス用・RF式)	お湯を使用中、排気口から火が見えた。熱交換器に煤が付着し、不完全燃焼したものと推測される。	無	無	埼玉県		
B1G07-222	2007/08/08	2008/2/21	ガスこんろ (都市ガス用・卓上型)	テーブルコンロから出火し、コンロ背面の一部および換気扇を焼損した。	器具の一部および換気扇を焼損	無	新潟県	事故品のグリルの器具枠内部を調査したところ、ガス通路が開いており、点火ボタンが押された状態であったことが確認された。グリルの火の消し忘れにより、火災に至ったものと考えられることから、不注意による事故であると判断した。	
B1G07-221	2007/07/01	2008/2/21	ガス炊飯器 (都市ガス用)	ガス炊飯器の釜を洗った後に乾燥目的で釜をセットし空焚きの状態で点火したところ、ガスゴム管が焼損、および炊飯器側面の一部が焦げた。	ガスゴム管および器具の一部を焼損	無	京都府	ガス炊飯器にはガス漏洩等の異常は認められないことから製品に起因する事故ではないと判断した。	
B2G07-220	2007/11/19	2008/2/18	ガスヒーター (LPガス用)	山間部にて、夜外に置いたままにした冷え切った状態のカートリッジを使い傾斜地にて使用されたところ炎があがった。	無	無	大分県		
B1G07-219	2007/10/04	2008/2/7	ガスこんろ (都市ガス用)	消防によると、グリルで調理中に出火したとのことであるが、機器については不備がなかったということで調査終了。	有	無	大阪府	調査の結果、当該機器には不備が認められず、当該製品に起因する事故ではないと判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
B1G07-218	2007/08/28	2008/2/7	ガスこんろ (ガス種不明)	当該機器のこんろを使用する際に、誤ってグリルの点火ボタンを押してしまい、グリル庫内に残っていた油脂や魚の燃えカスが燃焼し、排煙口から炎があがったとの事。消防は、使用者の取扱不備が原因として調査終了。	有	無	徳島県	調査の結果、使用者が当該機器を使用する際、パーナーではなく誤ってグリルの点火ボタンを押してしまったため、グリル庫内に残っていた油脂や魚の燃えカスが燃焼し、排煙口から炎があがったことが確認されたことから、使用者の不注意及び誤使用による事故であると判断した。	
B1G07-217	2007/09/06	2008/2/7	ガスこんろ (LPガス用)	台所付近から出火して、木造モルタル平屋建て約215平方メートルが全焼した。消防は、使用者の取扱不備が原因として調査終了。グリル使用中長時間その場を離れていた間に、こんろ後方の出窓に置かれていた可燃物に燃え移り火が広がったとみている。	有	有	岩手県	調査の結果、当該機器のグリルを使用したまま長時間その場を離れたため、グリルの排気口付近の可燃物に引火し火災に至ったものであることから、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G07-216	2007/08/05	2008/2/7	ガスこんろ (ガス種不明)	木造モルタル2階建て住宅約70平方メートルが全焼。消防は当該機器に接触していた壁(ベニヤ板)に機器の炎が低温着火したことが原因として調査終了。尚、取扱説明書にて「周囲に可燃物のある場合、トッププレートより上の側面および後面は15cm以上離す」という旨の警告をしている。	有	無	高知県	調査の結果、当該機器が長期間、壁に接触したまま使用していたため、壁のベニヤ板が低温着火により火災に至ったことが判明した。当該機器の取扱説明書には「壁などから15cm以上離して設置する。」と警告表示をしていることから、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G07-215	2007/05/17	2008/2/7	ガス炊飯器 (LPガス用)	リフォーム中の住宅で、風通しのよい廊下にて8kgLPガス容器に当該機器を接続して炊飯中、炊飯開始から約15～20分後に当該機器のレバーと後方に隣接した壁(当該機器との距離4～5cm)が焼損。消防の調査結果は、当該機器に不備はなく、使用者が強風の環境下で当該機器を使用したため、炎が機器内部に引火したとの事。	有	無	長崎県	調査の結果、当該機器には不備は認められず、使用者が住居リフォーム中の風通しのよい廊下で、強風の環境下で当該機器を使用したことにより炎が機器内部と壁に引火したものと判明した。当該機器の取扱説明書には、風の吹き込まない場所に設置すること等が警告事項として記載されていることから、使用者の不注意による事故と判断した。	
B1G07-214	2007/05/15	2008/2/7	ガスこんろ (LPガス用)	10kgLP容器に調整器を付け当該機器に接続していたところ(消防の調査では、当該機器の器具栓は閉状態)、この間でガスが漏えいし(漏えい部位は調査中)、何らかの着火源により引火、爆発。警察の見解は、当該機器に不備がなく、また、関わりが無かったとの事。	有	有	広島県	調査の結果、当該機器の器具栓は閉状態であり、漏洩等の不備が認められないことから、当該製品に起因する事故ではないと判断した。	
B2G07-213	2007/12/24	2008/1/30	カセットこんろ	1)カセットこんろにガスボンベをセットして鍋料理をしていた時、こんろから火が出た。 2)使用ボンベは他社製である。 3)PLセンターの調査結果では、カセットこんろにボンベをセットする際、正規の位置から180度(反対側)即ち他社製のボンベの「四角の穴」にセットしたことが原因で発生したと調査結果がでております。	製品一部破損	無	大阪府		
B2G07-212	2007/12/06	2008/1/24	ガスこんろ (LPガス用)	中学校の家庭科調理実習で当該機器を使用中、ボンという音と同時に調理台下の収納部の戸が開き、その際の炎で近くにいた生徒がまつ毛と前髪を焦がした。(火傷はなく目にも異常なし)調査の結果、原因は設置業者の取付工事ミスによる気密不良であり、製品に起因しないと判断した。	無	軽傷	兵庫県		
B2G07-211	2007/12/03	2008/1/23	ガス瞬間湯沸器(先止式) (都市ガス用)	使用者が当該機器使用中に、機器下に置いてあった食器水切り用容器(樹脂製)に火が着いていることに気付き、水をかけて消したとの事。当該機器は約15年使用されており、ガスガバナ本体内のダイヤフラムが局部的に経年劣化し亀裂に至り、漏れでたガスに引火したことにより溶融した部品の一部が食器水切り用容器上に落下し火が着いたものと推察されるが、現在まで同類の不具合情報は無く、極めて稀であり多発性は無いと判断する。	食器水切り用容器の焼損	無	東京都		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
B2G07-210	2007/12/14	2008/1/15	ガスこんろ (都市ガス用)	グリルで魚(鯉の切り身1枚)を調理し始め、その場を離れ15分位したら台所で「ボン」という音がした。需要家がこれに気がつき確認したところ、グリル部より10cm程度の炎が上がっていた。あわててもう1人を呼びに行き再度確認したところ、炎は小さくなっており、グリルの樹脂製取っ手と、ガラスが外れ落ちていた。	グリル扉の一部を 焼損	無	埼玉県			
B2G07-209	2007/12/09	2008/1/15	ガス小口径器具用プラグ (都市ガス用)	・ガス事業者殿の現場確認と調査で、ファンヒーター背面の一部焼損を確認、当該ファンヒーターと接続具(小口径器具用プラグ)の接続部からガスが漏れ、ファンヒーターの火が着火したものと判明。 ・ファンヒーターに取り付けられた接続具の状態は、プラグに抜け防止止め輪が付いていない。またファンヒーターのホースエンドからプラグが一山分抜けた状態であった。 ・当該プラグがファンヒーターのホースエンドに一山挿入不足の状態で使用されたため、ガス漏洩が発生したと判断します。	有(ファンヒーターの一部焼損)	無	京都府			
B2G07-208	2007/12/13	2008/1/11	ガスファンヒーター (都市ガス用)	需要家から「ガストーブ(ガスファンヒーター)が故障した」との通報を受けガス事業者が確認した所、ガストーブの背面の一部が焼損しているのを確認した。ガス事業者によるガス漏洩はなく、また当該需要家によりゴム管と適切に接続出来ない接続具を用いて器具に接続されている事が確認されている。(詳細調査中)	器具一部 焼損	無	大阪府			
B2G07-207	2007/12/09	2008/1/11	ガスファンヒーター (都市ガス用)	需要家から「ガストーブ(ガスファンヒーター)を使用中に火が出た」との通報を受け、ガス事業者が確認した所、ガストーブの背面の一部が焼損しているのを確認した。ガス事業者による調査の結果ガストーブと接続部から漏洩しておりガストーブの火が着火したものと推定される。(詳細調査中)	器具一部 焼損	無	京都府			
B2G07-206	2007/12/06	2008/1/11	ガスオープン (都市ガス用)	・町民会館に設置の当該機器で調理教室中、点火したつもりだったが不着火に気づき、再点火しようとして扉を開いたところ着火の炎により顔及び鼻に軽度の火傷(赤くなった程度)を負い救急車にて病院へ搬送された。 ・ガスに点火しないままオープンの扉を閉じたため、庫内に滞留した未燃ガスが、無意識の再点火操作あるいはコンロの炎により、着火したものと推察される。	有	無	愛知県			
B2G07-205	2007/11/30	2008/1/11	ガス迅速継手 (都市ガス用)	・お客さまより、ガス臭気がしてコンロ周辺で火が着いたとの通報を受け確認すると、ガステーブル用のソフトコードと炊飯器用の青ゴム管、ゴム管用ソケットの一部が焦げていた。 ・お客さまによると、コンロを点火したところ、炊飯器と接続しているゴム管用ソケット周辺から火が出たため、すぐに消火したとのこと。 ・長期間のご使用とお手入れ不足でゴム管用ソケットの内部まで油が侵入しシール性が低下したことやガス漏洩着火に至ったと推測します。	有	無	東京都			
B2G07-204	2007/12/01	2008/1/10	ガストーブ (都市ガス用)	使用者が当該機器を使用していたところ、警報器が作動し(換気注意)具合が悪くなったとのことで申し出があった。ガス供給事業者の調べでは、機器に異常はなく、換気が不十分であったとの見解である。	無	気分が悪くなった	静岡県			
B1G07-203	2007/10/29	2008/1/8	ガス給湯付ふろがま (都市ガス用)	シャワーを30分程使用した後、追い焚き運転をしようとした。その後外出中に、給湯器付近より火災(ボヤ)が発生したとの事。消防によると、当該機器の前にダンボールが置いてあり、機器運転時に引火したものであるという見解で調査中。	有	無	高知県	当該機器の前にダンボールが置いてあり、機器運転時に引火したものと判明した。当該機器の取扱説明書には「器具の周囲には燃えやすものを置かないでください。火災の原因になります。」と警告を記載しており、使用者の誤使用による事故であると判断した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
B1G07-202	2007/10/13	2008/1/8	ガスこんろ (都市ガス用)	油の入った鍋を火にかけたままその場を離れ、戻ってきたら炎があがっていたとの事。消防は、当該機器の調理油過熱防止装置(センサー)のついていないこんろで調理中に、使用者がその場を離れたことが原因として調査終了。尚、取扱説明書で「火を付けたままの、移動・外出・就寝禁止」と注意喚起をしている。	有	無	新潟県	使用者が調理油過熱防止装置のついていない側のこんろで、油が入った鍋を火にかけたままその場を離れたことから、使用者の不注意による事故と判断した。	
B1G07-201	2007/10/12	2008/1/8	ガスこんろ (LPガス用)	消防によると、センサーなし側こんろにて、油の入ったフライパンを火にかけたまま外出したことが原因ということで調査終了。	台所6㎡と天井、襦袢の民家の天井裏	無	愛媛県	使用者が調理油過熱防止装置のついていない側のこんろを点火し、天ぷら油が入ったフライパンを火にかけたまま外出したことから、使用者の不注意による事故と判断した。	
B1G07-200	2007/07/24	2008/1/8	ガスこんろ (不明)	当該機器のグリルで調理中に出火し、木造2階建て住家の台所約10平方メートルを焼き、使用者の方2名が足に軽い怪我を負った。	台所約10㎡	軽傷	岩手県	使用者が当該機器のグリルで魚を焼いていて、そのまま放置したことにより火災に至ったものであり、使用者の不注意による事故と判断した。	
B1G07-199	2007/12/20	2008/1/8	ガスバーナ付ふろがま (屋外式:都市ガス用)	家人が入浴の為風呂釜に点火、しばらくすると釜内部に着火したので需要家本人が消火器により消火した。釜内部のみ焼損した。	釜内部焼損	無	宮崎県		リコール品 (2007/04/19)
B1G07-198	2007/05/20	2008/1/8	ガスふろがま (都市ガス用:CF式)	浴室天井の換気扇を回して入浴し、浴槽内でぐったりしており救急車を要請した。排気ガスが逆流しCO中毒を起こしたものと推定される。	無	CO中毒 2名	北海道	事故原因は、ガスふろがま使用中に浴室内の換気扇を回したため逆風止め部から排気ガスが逆流し、一酸化中毒になったもの。当該製品には換気扇使用中は風呂の追い炊きをしないよう製品本体にも表示しており、使用者の誤使用による事故と判断した。	
B2G07-197	2007/12/26	2008/1/8	ガスこんろ (LPガス用)	当該機器のコンロに天ぷら鍋をかけたまま、その場を離れていたところ、天ぷら鍋から出火していた。消防は、調理油過熱防止装置のついていないコンロに、天ぷら鍋をかけたままその場を離れたことによるもので、機器に原因は無かったとして調査終了したとのこと。	無	無	鳥取県		
B2G07-196	2007/12/11	2008/1/8	ガスこんろ (都市ガス用)	グリル内より出火し、ゴムホースの一部を焼損した。消防は、使用者がグリルを消し忘れたことにより、日常の清掃をしていなかった為水受け皿に溜まっていた油に引火したことが原因で、使用者の不注意として調査終了したとの事。	ゴムホースの一部焼損	無	長崎県		
A2G07-195	2007/12/24	2008/1/7	ガス給湯付ふろがま (LPガス:屋外式据置型)	使用者より修理会社に修理依頼が入り、訪問したところ器具内部が焼損していた。家屋等への拡大被害は有りませんでした。	器具内部焼損	無	千葉県		リコール品 (2007/06/09)
B2G07-194	2007/12/20	2008/1/7	ガス給湯器 (都市ガス用:屋外式据置型)	器具前面カバーと前にあった木材が焼けた	器具前面カバー 焼け	無	長崎県		
A2G07-193	2007/12/23	2008/1/7	ガスバーナ付ふろがま (都市ガス用:BF式)	お客様が点火したところ、大きな音がしてふろ釜のケースが変形した。	器具変形	無	神奈川県		
B2G07-192	2007/12/14	2007/12/28	ガスこんろ (都市ガス用)	当該機器の右コンロで、フライパンを使って炒め料理をしていたところ、右側面の壁が焦げて煙が上がったとのこと。右側面の壁は可燃材であったが、当該機器との離隔距離は約3cmしかなく、防火措置のとられていない火災予防条例に反した設置状態であった。	側面の壁の一部を焦がした	無	三重県		
B2G07-191	2007/11/24	2007/12/28	ガス炊飯器 (LPガス用)	当該機器を点火する際、連続して数回操作を繰り返したところ爆発点火し、点火窓から溢れた炎でまつ毛を焼き目に軽傷を負った。数回の不着火によりガスが充満した為、爆発点火となり、顔を近づけていたので、点火窓から瞬間的に溢れた炎で受傷したと推測される。	無	軽傷	徳島県		
B2G07-190	2007/11/14	2007/12/28	ガスこんろ (LPガス用)	使用者が右コンロで調理中に、爆発音と共にキッチンの引出しが飛び出した。不具合に至った原因は特定できず、極めて偶発的なものと判断した。同類事例の発生に注視し継続監視する。	無	無	熊本県		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
B1G07-189	2007/10/15	2007/12/28	ガスこんろ (LPガス用:卓上型)	過熱防止センサーが付いていない側のバーナーにて天ぷら調理中にその場を離れた為、火災が発生。	天井を約4m延焼した	無	岩手県			
A2G07-188	2007/12/09	2007/12/27	ガス瞬間湯沸器 (都市ガス用:開放式)	需要家から「瞬間湯沸器を使用中に機器から発煙があり下部から炎が出た」との通報を受け、ガス事業者が確認したところ、当該機器が焼損しており、需要家が自ら消火した際に指に軽い火傷を負ったことを確認した。	器具内一部焼損	火傷 (軽傷)	秋田県			リコール品 (2007/02/12)
A2G07-187	2007/12/08	2007/12/25	ガスバーナ付ふろがま (LPガス用:屋外式)	家人が入浴の為風呂釜に点火、次の人が入浴中に再点火、給湯器のシャワーにて入浴をすます。3番目の人が入浴しようとしたところ、浴室の窓が赤く見えたので外に出て見ると風呂釜の排気箱より炎がみえたので、マイコンメーターの元栓を閉止した。	釜内部焼損	無	茨城県			リコール品 (2007/04/19)
A2G07-186	2007/12/13	2007/12/25	ガス給湯付ふろがま (LPガス用:屋外式)	台所で給湯使用していたらふろ釜の方で「ボン」という音がした。器具付近が明るくなった。	器具内部品の一部焼損	無	長崎県			
A2G07-185	2007/12/10	2007/12/25	ガスオープン (LPガス用)	・高等学校で料理実習中、ガスオープン点火時の異常着火により、両足大腿部と右手薬指、小指に軽度の火傷を負った。 ・ガスオープンの器具栓が破損故障しており、バーナーおよびパイロットバーナーから微量にガス漏洩する状態で、ガス元栓を開け点火操作したため、オープン庫内に滞留したガスに引火し、異常着火となった。	無	軽度の火傷	香川県			
B2G07-184	2007/12/16	2007/12/25	ガスこんろ (LPガス用)	当該機器グリルでさんまを焼いている時、油受け皿に落ちた油が燃えだし、火が大きくなった為、消火器で火を消した。使用者はグリルの日常のお手入れをしていなかった為、油受け皿に蓄積した油に引火したものと思われる。	無	無	徳島県			
A2G07-183	2007/12/13	2007/12/25	ガスこんろ (都市ガス用)	使用者が当該機器グリルで魚を焼いたままの状態での場から離れ、その間にグリルから発火し、付近の壁の一部焦がした。消防は、使用者の取扱不注意との見解で調査終了した。	こんろ付近の壁の一部	無	北海道			
B2G07-182	2007/11/21	2007/12/25	ガス瞬間湯沸器 (都市ガス用)	当該機器を点火した際、爆着を起こし、機器とダクトの連結部付近から火が出た為、消火器で消したとのこと。 ガス供給事業者の調べでは、使用者が点火操作の順序を間違ったことにより爆着を起こし、当該機器フロントカバー内側に付着していた大量の埃に引火したものと推測している。	無	無	三重県			
A2G07-181	2007/10/22	2007/12/25	ガスこんろ (LPガス用)	天ぷら調理中、その場を離れている間に出火した。台所の壁など2平方メートルを焼き、1名の方が顔に軽い火傷を負ったとの事。 消防は、調理油過熱防止装置(センサー)のついていない当該機器で天ぷら調理中にその場を離れたことによる、使用者の取扱不注意が原因として調査終了。	機器と台所の壁を焼損	軽い火傷	青森県			
B1G07-180	2007/10/12	2007/12/20	ガスこんろ (LPガス用:卓上型)	コンロにて天ぷら油の処理をしようとし、フライパンに油を移し変え凝固剤を固める為に火をつけて温めていた。凝固剤を入れる前に、火をつけたまま洗い物をしていたら煙と火が出て来た為、粉末消火器で消火した。 お客様はセンサー側かセンサーが付いていない側かどちらを使用したのかは分からないとの事。	コンロの焼損と換気扇が焼け落ちた	無	静岡県	使用者が天ぷら油の処理をしよう凝固剤を固めるために、コンロに火を付け油を温めてたまま放置していたことから、使用者の不注意による事故と判断した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
B1G07-179	2007/10/12	2007/12/20	ガスこんろ (LPガス用)	厨房室の改修工事中のガス爆発。ガスの元栓と製品の器具栓が開いており、ガスが漏れていた状態で電気器具の電源コードをコンセントに差し込んだ際に爆発市火傷を負った。	火災	軽い火傷	埼玉県	元栓を開めずに改修工事を行っていたため、何らかの原因でガスが充滿し、コンセントの差し込みによるスパークでガスに引火し、爆発したことから、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G07-178	2007/10/07	2007/12/20	ガスレンジ (LPガス用)	点火しようとしたところ自動点火しなかったため、器具栓をかけたまま点火具を探し点火器具で点火したところ爆発した。その際に火傷を負った。	火災	軽い火傷	沖縄県	使用者が器具栓(コック)を開けたまま放置続けたためガスが充滿し、着火作業により爆発したことから、使用者の不注意による事故と判断した。	METI発表では「ガスこんろ(ガス種不明)」としている。
A2G07-177	2007/10/30	2007/12/19	ガス給湯器 (LPガス用)	お湯を使用中、給湯機から黒煙が発生した。その際、排気口付近が赤く見えた。熱交換器に煤が付着し不完全燃焼を起こしたものと推定。	無	無	石川県		
B1G07-176	2007/11/03	2007/12/19	ガス栓 (都市ガス用:迅速継手付)	・罹災者が壁用埋め込み型ガス栓をライターの火を照明代わりにして、ガス栓のつまみをベンチで回して開けようとしたところ、ガス栓から漏えいしたガスにライターの火が着火し、ガスコード及び壁の一部を焼損した。 ・ガス栓からのガス漏洩は、壁用埋め込み型ガス栓から正規の部品を取り除いき不正規な状態で使用し、閉止部を直接ベンチを使用し無理に開けようとしたことが原因。 ・製品起因の事故ではなく、不正規な製品改造が原因の事故と思われる。	火災	無	京都府		
B1G07-175	2007/10/08	2007/12/19	ガスふろがま (LPガス用:屋外式)	ふろ使用後、浴室の火災に気づき消防に連絡した。	器具、ガス配管、周辺部、壁、浴室天井	無	東京都	当該機器の前にダンボール類が置いてあり、機器運転時に引火したものと判明した。当該機器の取扱説明書には「本体や排気口・排気筒のまわりに燃えやすい物を置かないでください。火災の原因になります。」と警告を記載しており、使用者の誤使用による事故であると判断した。	
B2G07-174	2007/11/09	2007/12/17	ガスオープン (都市ガス用)	・高校の調理実習中の教師が、家庭用オープンの扉を開けて点火操作をしたところ、熱風が顔に当たり火傷(軽傷)を負った。 ・ガス配管および機器を調査したが、異常は見つからず機器は正常な状態であった。 ・当該機器は立ち消え安全装置の無い機種のため、偶発的な要因により、庫内に滞留したガスに点火動作をして時、爆発的な着火となり熱風が吹き出したと推測します。	無	有	福岡県		
B2G07-173	2007/12/01	2007/12/14	ガス炊飯器 (都市ガス用)	「炊飯器使用中に火が出た」との通報を受け、ガス事業者が確認したところ、炊飯器の一部が焼損していた。	製品の一部焼損	無	東京都		
B2G07-172	2007/11/05	2007/12/14	ガスこんろ (都市ガス用)	使用者がグリルを初めて使用する際に、受け皿に水を入れ、グリルを空焼きした後、庫内に残っていた水滴を素手で拭き取っていた際、庫内のバーナー部分で手を切ったとの事。 「お手入れの際は必ず手袋をして行なう」「グリル庫内をお手入れする際は各部品の突起物に注意する」と取説で注意喚起している。	無	裂傷	大阪府		
B2G07-171	2007/12/04	2007/12/14	ガスこんろ (都市ガス用)	当該機器のグリルで魚を焼いていたところグリル内で引火し、グリルガラスが割れたとの事。グリルの油受け皿の中に油がこぼれるくらい溜まっており、その油に引火したことによるものと推測。	機器の一部を破損	無	東京都		
A2G07-170	2007/11/28	2007/12/14	ガスファンヒーター (LPガス用)	当該機器を使用中に器具の後方より出火したため、ガス栓を閉め及び電源を切って消火したとの事。ガス漏れ等、機器の異常はなかったが、使用されていたガスホースの当該機器接続部あたりに、劣化によるひび割れ及び、焼損の跡が認められた。焼損の状態とお申し出の状況から、ガス接続口とガスホースの接続部にてガス漏れがあり引火したと推測される。	機器の一部を焼損	無	埼玉県		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
B2G07-169	2007/11/24	2007/12/14	ガスこんろ (都市ガス用)	当該機器右こんろを点火しようと点火ボタンを押した際、誤ってグリルの点火ボタンを押していたことに気づかず、右こんろに火がついていないため再度右こんろの点火ボタンを押し、その後点火したままになっていたグリルから出火したとの事。消防は使用者のグリル消し忘れて、水受け皿の清掃不備により溜まっていた油脂に引火したという、取扱不注意との見解で調査終了。	機器とその周辺が焼損	無	北海道			
B2G07-168	2007/11/15	2007/12/14	ガスこんろ (LPガス用)	当該機器のグリルで焼鳥を焼いた後、食事をしているときに焦げくさい臭いがしたので当該機器を見に行ったところ、グリル内部で火が出ている。グリルを消し忘れていたことに気づいたため、ボタンで消火操作をし、消火器で消火したとの事。グリル消し忘れの為、グリル受け皿に溜まった油脂に引火したものと推測される。	有	無	兵庫県			
B1G07-167	2007/11/17	2007/12/13	ガスこんろ (LPガス用:卓上型)	鍋を左コンロにのせ煮物調理をはじめた。2階に上がり10～15分後に煙により出火を確認した。	全焼	軽傷1名	神奈川県			
B2G07-166	2007/10/14	2007/12/12	カセットこんろ (LPガス用)	1)慶応大学の学園祭中、机の上でジャガイモを湯でる為に使用していた。 2)前日は正常に使用できた。 3)2日目、ガスがなくなったので、ボンベを交換後火が着かず点火操作を何回か行った際に1m位の炎が上がった。 4)今回の事故はボンベ誤装着によりガスが漏れ点火操作時に漏れたガスに引火し、1m位の炎が上がったものと思われる。	製品一部 破損	無	神奈川県			
B1G07-165	2007/10/07	2007/12/11	ガスこんろ (LPガス用:卓上型)	木造2階建て住宅から出火して、約150平方メートルを焼いた。台所付近が激しく燃えていることから、火にかけたままだった天ぷら油から出火したものでらしい。(消防談)	製品全損 拡大被害(住宅火災)	無	滋賀県			
B1G07-164	2007/08/09	2007/12/11	ガスこんろ (都市ガス用:卓上型)	コンロ使用中にその場を離れた為、火災が発生。	住宅100㎡を全焼	無	山梨県			
B1G07-163	2007/03/19	2007/12/11	ガスこんろ (LPガス用:卓上型)	天ぷら調理中にその場を離れた為、火災が発生。	不明	3名が火傷	山梨県			
B1G07-162	2007/11/16	2007/12/11	ガスこんろ (都市ガス用:組込型)	こんろで天ぷら油が吹きこぼれた後、油の拭き取りなどのお手入れをせずそのまま使用しており、今回、焼網を使用して茄子を焼いていた際に発生した火の粉が、こんろに溜まっていた油に引火した。消防の見解は、お手入れ不足と誤使用。	無	無	東京都			
A2G07-161	2007/11/27	2007/12/6	ガス給湯器 (LPガス用)	お風呂にお湯を溜めていたが、お湯の温度が上がらなかつたため、給湯機を確認すると黒煙が出ていて、排気口付近に火の粉が見えた。現在、原因調査中	無	無	石川県			
A2G07-160	2007/11/22	2007/12/5	ガス瞬間湯沸器 (都市ガス用:開放式)	需要家が、湯沸器の点火操作を行ったが出湯しない為確認したところ、機器内部が燃えており、消火器で消火した旨連絡があった。ガス事業者が確認したところ、機器内部の一部焼損を確認した。また、灯内内管から器具栓までのガス漏えいが無いことを併せて確認した。	器具内 一部焼損	無	東京都			
B2G07-159	2007/11/08	2007/12/5	ガスこんろ (都市ガス用)	使用者によると、当該機器でお湯を沸かし消火した約10分後に警報器が鳴った為、台所を確認したところ機器下から出火に気づき消火器で消火した。ガス会社の調査によると、ソフトコードがグリル底部に接した状態にあり、グリル使用に伴う熱影響によりソフトコードが炭化しガス漏れに至ったと推定。また使用者は、グリル使用時に水受け皿に水を入れないで使用していたとの事。	機器の一部を焼損	無	東京都			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
B1G07-158	2007/08/04	2007/12/4	ガスこんろ (都市ガス用:卓上型)	グリルで魚を焼いていたところ、15分程経過後に「パン」と音がし、確認したらガラスにヒビが入っていた。扉を引き出したら、ガラスが飛散した。	製品の一部	無	東京都			
B2G07-157	2007/10/29	2007/12/4	ガスオープン (都市ガス用)	・家庭科実習室に設置の当該機器を使用中、着火不良のため繰り返し点火動作した。その為、爆発的な着火が起こり、2名が火傷(軽症)を負い、救急車にて病院へ搬送された。 ・普段使い慣れない器具の操作のため、オープンへの着火がうまくできず、繰り返し点火動作をおこなった為、オープン庫内にガスが滞留し、このガスに引火し爆発的な着火となり、当該事故に至ったと思われる。	無	有	愛知県			
B2G07-156	2007/11/28	2007/12/3	ガス給湯器 (都市ガス用)	器具前面カバーが焼けて一部黒く変色した。	器具前面カバー 熱変色	無	東京都			
B1G07-155	2007/10/08	2007/11/29	ガスこんろ (LPガス用:卓上型)	グリルの消し忘れが原因の火災事故が発生し、壁や天井約17.5㎡を焼いた。家人は顔やひじに軽い火傷を負った。	台所の壁や天井 を焼損	有	栃木県			
B1G07-154	2007/11/20	2007/11/29	ガスこんろ (LPガス用)	当該機器のグリルから出火し、台所と居間の一部を焼損したとの事。消防は、使用者のグリル消し忘れにより、グリル水入れ皿に付着していた油脂に引火したのが原因と判断。	有	無	北海道			
B2G07-153	2007/11/09	2007/11/29	ガスこんろ (LPガス用)	当該機器の調理油過熱防止装置(センサー)のついていない側のこんろで、鍋を火にかけたまま外出。その後、部屋から煙が出ているのを近所の方が発見し、消防に通報した。出火はなく、鍋が焦げたのみであったとの事。又、消防は使用者の取扱不注意(こんろ消し忘れ)が原因との見解。	無	無	石川県			
B1G07-152	2007/11/13	2007/11/27	ガスこんろ (都市ガス用)	当該機器にて揚げ物調理中に調理油に引火し、建物が全焼に至る。 消防の見解は、使用者の不注意と誤使用による事故。	建物の全焼	有(重症火傷)	東京都			
B1G07-151	2007/11/13	2007/11/26	ガスこんろ (都市ガス用)	ガスこんろのグリル部で魚を焼いていて、誤ってボヤに至った。	家屋半焼	無	東京都			
B2G07-150	2007/11/19	2007/11/22	ガス給湯付ふろがま (都市ガス用:屋外式据置型)	着火異常によりフロントカバー変形。	器具変形	無	広島県			
B2G07-149	2007/11/07	2007/11/22	ガスこんろ (LPガス用)	グリルの受け皿を掃除中、切抜き部で右手の中指を切ったとお申し出あり。 当該部品のお申し出箇所については加工上の問題は無く、又、お申し出の操作をしても受傷する状況にはならず、原因の特定はできなかった。	無	有(裂傷)	大阪府			
B1G07-148	2007/09/13	2007/11/22	ガスこんろ (卓上型:都市ガス用)	グリル庫内の火災によりコンロ本体の上部にあったプラスチック棚に引火した。家人は消火活動の際に顔や腕などに、火傷を負った。	台所のコンロ付近 を焼損	有	宮城県			
B1G07-147	2007/05/27	2007/11/22	ガスこんろ (LPガス用:卓上型)	グリルの消し忘れが原因と思われる火災事故が発生し、壁2㎡延焼。	台所のコンロ付近 を延焼	無	和歌山県			
B1G07-146	2007/10/15	2007/11/22	草焼バーナー	70歳の男性が自宅の庭の前日刈った草を焼こうと思いい製品のスイッチを入れたところ、ガスボンベ(他社製品)が突然2度にわたり爆発した。NITE中国支社、消費生活センターにて使用者の誤使用と判断される。	無	重傷者1名	山口県	事前に刈った草に対して、燃えやすい様にガスを噴霧したところに当該製品を使用しようとスイッチを入れた際の爆発事故であり、消費者の誤使用であると判断した。		
A2G07-145	2007/11/13	2007/11/21	ガス給湯付ふろがま (LPガス用:屋外式据置型)	器具内部のガスパイプ腐食によりガス漏れ引火し器具内部焼損した	器具内部焼損	無	千葉県			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
B1G07-144	2007/10/28	2007/11/16	ガスこんろ (都市ガス用:卓上型)	コンロで鍋にて調理後、鍋を収納後に右パー ナー付近より火が上がり、需要家が毛布と消火 器で消火した。	台所のコンロおよ び器具周辺の壁 を損傷	無	大阪府			
A2G07-143	2007/11/05	2007/11/15	ガスパーナー付ふろがま (都市ガス用:半密閉式)	需要家が浴槽の掃除を行う為、当該機器のシャ ワーを使っていたところ、30秒程して異音があ った為使用を中止した。機器本体の覗き窓に黄色い 炎が見え、ほぼ同時に側面と逆風止めより黒い 煙が出た。また、ゴムの焼ける臭いもした。 需要家がガス会社に連絡、同日18時56分に現 場到着、ガスの漏洩検査をしたが異常は認めら れなかった。	有	無	神奈川県			
B1G07-142	2007/08/21	2007/11/15	ガスこんろ (LPガス用)	使用者の申し出によると、点火し約10分後に、こ んろ内部より小爆発音がした。消火しようとした が、点火つまみが溶けていた為、ガス元栓を閉 めて消火したとの事。使用者にけがはなし。 ガス事業者の調査では、器具よりのガス漏れは 認められなかったが、マイクロスイッチが溶けた 状態であったとの事。 製造元での調査では、点火つまみ及びマイクロ スイッチが溶けた原因は特定できなかった。尚、 ガス漏れは無く、異常な箇所も認められなかつ た。	機器の一部を焼 損	無	埼玉県			
A2G07-141	2007/09/15	2007/11/15	ガスランタン (LPガス用)	ランタン点灯中にマンツルの色が変化し急に高 い音とともに炎上その後破裂。	有	有(軽い火傷)	北海道			リコール品 (2007/07/27)
A2G07-140	2007/08/16	2007/11/15	ガスランタン (LPガス用)	使用中にカートリッジ接続部よりガスが漏れて 引火、ツマミをOFFにするが止まらず危険を感じ て近くの畑、水田めがけて投げた。その後20 CM程の火が上がり2、3分後爆発2-30Mはな れた場所まで器具が飛んだ(ユーザーの方に) なおリコール対象品であることはその後WEBサ イトで知った。	有	有(軽い火傷)	宮城県			リコール品 (2007/07/27)
A2G07-139	2007/10/30	2007/11/5	ガス給湯器 (LPガス用)	お湯を使用中、給湯機から黒煙が発生した。そ の際、排気口付近が赤く見えた。 現在、原因調査中	無	無	石川県			
A2G07-138	2007/11/01	2007/11/13	ガス給湯付ふろがま (都市ガス用:屋外式据置型)	器具寿命により商品取替えに訪問した際に、器 具の外装焼けと家屋の壁等の一部が汚損して いた。	有	無	千葉県			リコール品 (2007/06/09)
A2G07-137	2007/10/26	2007/11/9	ガス給湯付ふろがま (LPガス用:屋外式据置型)	器具内の電装類焼損	器具内部品の一 部焼損	無	愛媛県			リコール品 (2007/06/09)
B2G07-136	2007/10/22	2007/11/9	ガスパーナー付ふろがま (BF式:LPガス用)	お客様が点火したところ、着火確認用のメー ターの針が十分に上がらず、すぐに消して再点 火した。大きな音がしてフロントカバーの下部金 具が変形した。	金具変形	無	徳島県			
B1G07-135	2007/09/17	2007/11/9	ガスこんろ (LPガス用)	木造2階建て住宅から出火し、約160平方メー トルを全焼した。台所で調理中、目を離れた間に 火が出たとの事から原因を調査中。	製品全損 拡大被害 (火災)	無	滋賀県			
B2G07-134	2007/10/18	2007/11/8	ガスこんろ (都市ガス用)	強火力側コンロを使用中、機器本体下部より出 火した。 当該機器にガス漏れ等の異常は認められず、 機器下に可燃物があったことによるものと推測 される。	機器の一部を焼 損	無	大阪府			
B2G07-133	2007/09/28	2007/11/8	ガス炊飯器 (LPガス用)	当該機器(未使用時)のガスコード継手部分か ら火が出ているのに気づき使用者が消火した。 販売事業者が同箇所からのガス漏れを確認し たが、ガスコードのつなぎ直しにより漏れがな くなった。	無	無	新潟県			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
B2G07-132	2007/10/23	2007/11/5	ガス湯沸器 (都市ガス用)	使用者が当該機器を点火したところ、機器下部のガス接続部から漏れたガスに着火し、機器の基盤ケース(プラスチック製)を焼損した。ガス供給事業者の調査結果、使用者が機器を取替えた際、強化ガスホースの接続部にパッキンを入れ忘れた事が原因との事。また、当該機器には、異常ないとの事。	当該湯沸器の基盤ケースを焼損	無	兵庫県			
B2G07-131	2007/10/15	2007/11/5	ガスこんろ (LPガス用)	使用者の申し出によると、中学1年生の息子様が大バーナー側(内炎式)を点火したところ、火が立ち上がり、髪の毛及びまつ毛を焦がし、目に火傷(軽傷)を負ったとの事。ガス供給事業者が点検・調査の結果、お申し出の症状は再現せず、又、機器に異常も確認できなかった。	無	有(軽い火傷)	茨城県			
B2G07-130	2007/10/03	2007/11/5	ガスこんろ (LPガス用)	当該機器後方から出火した。ガス販売店が調査したところ、ゴム管口付近よりのガス漏れとの事。当該機器が客先に設置後、ゴム管口を脱着するような扱いがあり、その際、正しく取り付けなかった為に不具合に至ったと考えられる。	無	無	栃木県			
B2G07-129	2007/09/09	2007/11/5	ガス給湯器 (都市ガス用)	シャワー(2バルブ水栓)を使用して水側の水栓を閉じたところ熱い湯が出て体に浴び、首と左手首に熱傷を負った。	無	有	大阪府			
B2G07-128	2007/10/06	2007/11/1	ガスオープン (LPガス用)	・料理講習会において参加者の1名が、会場に設置されていたオープン5台のうち1台に点火したところ、庫内に滞留していたと思われるガスに引火し、軽いやけど(1度の火傷)を負った。 ・罹災者の話では、点火操作時には既に器具栓が開いていたとのことであり、他の参加者または主催者が器具栓を開けたまま放置したためガスが滞留し、点火操作時にこの滞留ガスに引火し爆発的な着火となり、事故が発生したと推測される。	無	有	宮城県			
B2G07-127	2007/10/07	2007/10/30	ガス湯沸器 (LPガス用)	使用者の申し出によると、当該機器を半年ぶりに使用したところ、本体の上からススが出て、出火したため水をかけて消火したとの事。NITE及び当社が現場を調査したところ、機器周辺に焼損跡は認められなかった。尚、機器がガスこんろの50～60cm上方の壁に設置してあったため、油污れがあった。また、水圧作動弁のスピンドル部の固着により、止水不良であった。原因をNITEにて調査中。	無	無	福井県			
A2G07-126	2007/10/12	2007/10/30	ガス給湯付ふろがま (都市ガス用・屋外式据置型)	自主点検作業で交換した部品を組み付ける際ねじゆるみがあり、ガス漏れ引火し器具停止した。	器具内部品の一部焼損	無	埼玉県			リコール品 (2007/06/09)
B1G07-125	不明	2007/10/25	ガスこんろ (LPガス用)	・当該機器にて天ぷら調理中に揚げ油より出火、建物の半焼に至る。 ・消防の見解は、使用者の不注意による事故。	有 (建物の半焼)	不明	東京都			
B1G07-124	2007/08/11	2007/10/24	ガスこんろ (都市ガス用)	前日使用し、こんろの上に置かれていた調理油の入った鍋に火がつき、こんろ周辺を焼損した。出火した際、家人が水を掛けて消そうとしたため、水蒸気爆発を起こし、軽い火傷を負った。鍋の置いてあったバーナーに誤って点火したことが確認された。	火災	有(軽い火傷)	東京都	調査の結果、使用者が調理油が入っていた鍋を置いていたガスバーナーを誤って点火していたことが確認されたため、使用者の不注意による事故であると判断した。		
B1G07-123	2007/08/04	2007/10/24	ガスこんろ (LPガス用)	台所付近から出火し、母屋と納屋を全焼した。使用者は、調理油過熱防止装置のついていないガスこんろ側で天ぷら調理後、消火しないでその場を張られたことが確認された。	火災	有(軽傷)	岡山県	調査の結果、使用者は、調理油過熱防止装置(センサー)のついていないガスこんろ側で天ぷら調理後、ガスこんろを消火してその場を離れたつもりが、消火されておらず油が加熱され、発火したことが確認されたため、使用者の不注意による事故であると判断した。		
B1G07-122	2007/07/10	2007/10/24	ガス栓 (LPガス用)	2口のガス栓の1つと接続した2口ガスこんろでお湯を沸かしながら、もう1つのガスバーナーに火をつけたところ爆発した。調査の結果当該ガス栓に不具合はなかった。	火災	有(重症火傷)	鳥取県	調査の結果、当該ガス栓に不具合はなかった。事故は、当該2口ガス栓の何も接続していない方の栓が開いていた可能性があり、微小に漏れたガスが拡散せず、一ヶ所に溜まってしまったことにより引火、爆発した可能性もあり、引火の原因となったバーナーへの点火の前に、既にもう片方のバーナーでお湯を沸かすため火を使用していることもあり、偶発的に起きた事故であることから、製品に起因する事故ではないと判断した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
B1G07-121	2007/07/17	2007/10/24	ガス給湯付ふろがま (都市ガス用:RF式)	当該機器を使用時、機器上部の洗濯物が燃えていることに気づき消火した。当該機器の排気口の近くに洗濯物を干していたため、排気熱で洗濯物が過熱され発火したものと思われる。	火災	無	愛知県	排気口の近くに洗濯物を干していたため、排気熱で洗濯物が加熱され発火したものと思われるため、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G07-120	2007/07/14	2007/10/24	ガスふろがま (都市ガス用:BF式)	当該機器の給湯を使用して、浴槽にお湯を入れていたところ、ふろがま周辺が燃えていた。使用者の製品改造による事故と判断した。	火災	無	東京都	使用者より「口火の大きさを調整した」との証言があり、機器内部を確認したところパイロットパイプに機器とは関係ないアルミ製パイプが接続されており、その接続部からのガス漏れが確認された。この漏洩ガスに引火したことにより火災に至ったものであり、使用者の製品改造による事故と判断した。	
B1G07-119	2007/07/10	2007/10/24	ガスこんろ (LPガス用)	2口のガス栓の1つと接続した2口ガスこんろでお湯を沸かしながら、もう1つのガスバーナーに火をつけたところ爆発した。機器にはガス漏洩等の異常は認められないから製品起因の事故ではない。	火災	有(重症火傷)	鳥取県	ガスこんろにはガス漏洩等の異常は認められないことから製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G07-118	2007/06/27	2007/10/24	ガスこんろ (LPガス用)	全焼の火災が発生し、家人が首や足に軽い火傷を負った。当該機器でスープを煮ていて、消し忘れたのが原因として調査中。なお、機器焼損のため機種名不明であるが、調理油過熱防止装置は付いていなかった。使用者がガスこんろでスープを温めている最中に寝てしまい火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故である。	火災	有(軽い火傷)	山梨県	使用者がガスこんろでスープを温めている最中に寝てしまい火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B2G07-117	2007/10/05	2007/10/24	ガスこんろ (都市ガス用)	使用者が当該機器のグリルを予熱しようとして点火したが、点火したことを忘れ、グリル庫内に残っていた油脂が燃焼して煙があがった。	機器内部の焼損	無	新潟県		
B2G07-116	2007/10/12	2007/10/24	ふろバーナー (LPガス用)	リコールに伴い風呂釜に使用されている釜バーナーのガスブロック交換にサービス会社が訪問修理した。同日、18時30分頃、ユーザー殿が風呂釜を使用したところエラー表示が点滅、不審に思ったユーザーがガス供給業者に連絡、同時に風呂釜を確認したところ炎が出ていたためガスの元栓を閉めた。	有	無	広島県		リコール品
B2G07-115	2007/10/06	2007/10/24	ガス迅速継手 (LPガス用)	・炊飯中にガス炊飯器のガスゴム管接続部(迅速継手部)より火災発生、使用者が水を掛けて消火。 ・迅速継手の焼損とガス炊飯器、炊飯器台と食器棚の一部に焦げあと有り。 ・ガス迅速継手は完全に焼損しており、発生の原因調査はできない状態でした。但し焼損状態より迅速継手の接続部でガスが微少漏れし、炊飯器の炎が火種となり漏洩ガスに着火したと推定。	有	無	香川県		
B2G07-114	2007/08/24	2007/10/23	ガスこんろ (LPガス用:組込型)	・使用者がキッチンにてグリルで「さば切身」6個を焼き、そのまま手羽2個を焼きだした。それからわずかの時間で、排気口より火が30cmほど上がっていた。危険を感じた使用者が、水に濡らしたバスタオル数枚を排気口にかぶせたりして消火を行った。 ・なかなか火が消えず、煙が1、2階の部屋に充満。警備会社の煙感知機が作動。消防、警察へ自動通報となる。消防、警察到着時には消火していた。 ・グリル内に付着していた油の発火と推定します。	有	無	大分県		
B2G07-113	2007/09/16	2007/10/16	ガス湯沸器 (都市ガス用)	使用者からの申し出によると、当該機器の点火ボタンを数回押しパイロットバーナーに点火しようとした際、機器の左側面パフラー部より炎が見えたとの事。当該機器はガスの漏洩はなく、また、機器に焼け焦げ等の跡は殆ど無し。尚、パイロットバーナーの点火操作を数回繰返しても、ガスが機器内に滞留する量は極めて少なく溢れ着火することは無いと考えられる。	無	無	大阪府		
B2G07-112	2007/09/16	2007/10/16	ガス湯沸器 (都市ガス用)	当該機器の点火ボタンを押したところ、点火しなかったため再度押すと、機器より火が出て、使用者の方が髪の毛を焦がし、顔に火傷を負ったとの事。	無	有(軽い火傷)	愛知県		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
B1G07-111	2007/09/16	2007/10/16	ハンディーガスヒーター	閉切ったテント内でカセットボンベ式の暖房器具を使用したためCO中毒となり二人死亡。使用者の誤使用である事故と判断。	無	有(死亡2名)	北海道			
B1G07-110	2007/08/19	2007/10/16	ガス衣類乾燥機 (ガス種不明)	アロマオイルを使用するマッサージ店で、当該機器を使用中に衣類が燃えた。事故原因は、オイルが付着したタオルを乾燥し、放置した事によりタオル等に残留しているオイルが酸化熱により発火したものと思われる。取扱説明書でもオイルの付着した衣類等は絶対乾燥機に入れないよう記載しており、消費者の誤使用と判断した。	火災	無	東京都			
B1G07-109	2007/08/08	2007/10/16	ガスこんろ (LPガス用)	使用者が当該機器のグリルで魚を焼いた後、火を消し忘れたため、グリルに付着した油脂が燃焼し、グリル排気口から炎が上がった。使用者の取扱不注意と判断。	火災	無	山口県			
B1G07-108	2007/08/06	2007/10/16	ガスこんろ (ガス種不明)	使用者が当該機器のグリルで魚を焼いた後、火を消し忘れたため、グリルに付着した油脂が燃焼し、グリル排気口から炎が上がった。使用者の取扱不注意と判断。	火災	無	兵庫県			
B1G07-107	2007/08/31	2007/10/15	ガスこんろ (LPガス用)	当該機器で天ぷら調理中に火災が発生したとの事。警察は、当該機器の調理油過熱防止装置(センサー)のついていないこんろで、天ぷら鍋を火にかけてそのままその場を離れた、取扱不注意が原因として調査終了。	不明	無	兵庫県			
B2G07-106	2007/09/16	2007/10/11	ガス湯沸器 (都市ガス用)	遅点火のため機器内にガスが溜まりあふれ着火し、その際の炎がダクトに付着した埃に引火した。尚、パイロットノズルの掃除をしたところ、遅点火の症状は改善された。また、弊社の取扱説明書には、日常点検として「パイロットの炎が小さくなっていませんか」という旨の注意喚起をしている。	無	無	愛知県			
B2G07-105	2007/08/26	2007/10/11	ガスこんろ (都市ガス用)	当該機器を使用中、左側下部より火がでた。使用中に多量の煮こぼれがありバーナーの炎孔が一時的に閉塞され、ガスが逆流してバーナー口元部から炎があふれたものと推測。	無	無	熊本県			
B1G07-104	2007/09/24	2007/10/10	ガス栓 (都市ガス用)	ガステーブル使用中に、何も接続されていないガス栓を開放した為、ガスが炎に引火焼損に至った。尚、ガス栓には誤開放した時にガスが出ない安全機能(バネ式)が付いているが接続口に5cm程度のゴム管が取り付けられ、安全機能(バネ式)が作動しない状況になっていた。	窓ガラス ガス栓 換気扇 ガステーブル及 壁の汚損	無	東京都			
A2G07-103	2007/09/04	2007/10/5	ガスこんろ (都市ガス用:組込型)	調理中に白い煙が出た。ガス事業者が調査したところ、バーナーの点火プラグのスリーブと立ち消え安全装置(熱電対)の被服が焦げていた。当該バーナーを使用するとバーナー側面から小さな炎が出ることを確認した。	有	無	東京都			
B1G07-102	2007/09/20	2007/10/3	ガスこんろ (ガス種不明)	当該機器を使用中に火災が発生したとの事。消防は、調理油過熱防止装置(センサー)がついていない当該機器で、天ぷら鍋をかけたまま外出したことによる、取扱不注意が原因として調査終了。	不明	不明	福岡県			
A2G07-101	2007/09/14	2007/10/1	ガスバーナー付ふろがま (都市ガス用:BF式)	ふろ釜内部から炎が上がったので使用を中止した。人的被害および器具内損傷はありません。	無	無	山口県			
A2G07-100	2007/08/11	2007/9/28	LPガスランタン	タープに引っ掛けて約1時間半ほど使用した後、弱火に調整後しばらくたって炎が発生し、タープが焼けて中に入った物品などに被害がでた。	有	有(軽微な火傷)	京都府(キャンプ場)			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
B2G07-099	2007/08/24	2007/9/25	ガス瞬間湯沸器 (都市ガス用)	当該機器を使用中に排気フード部辺りから炎が上がったとの事。現場で点検した結果、当該機器はガスの漏洩無く、点火・燃焼状態も正常であった。また、すでに使用者が、油受け皿、及び排気フード周辺の油脂と埃を清掃しており、炎の形跡や機器内の油脂、埃等の付着状態を確認できなかった。尚、取扱説明書には、油受け皿の定期的な清掃、及び「排気フード部より油がたれていないか」等の日常点検をお願いしている。	無	無	宮城県			
B2G07-098	2007/08/19	2007/9/25	ガス瞬間湯沸器 (都市ガス用)	種火をつけた状態で、給湯栓を開けてもメインバーナーに着火せず、数回繰返すうちに小爆発的な音がし、排気フードの中に炎が見えたため消火器で火を消した。原因は油煙・埃の類が機器内部・排気フード部に流入し経年で堆積し、メインバーナーへの着火が遅れ、何度か繰返すうちに器具内部にたまったガスに引火し、その影響で排気フード内の油脂類・埃に火が移ったものと推測。また、取扱説明書にて、「排気フード部より油がたれていないか」等の日常点検をお願いしている。	有	無	北海道			
B2G07-097	2007/08/05	2007/9/25	ガスこんろ (都市ガス用)	当該機器(グリル)の下にゴムホースが回り込んでいた。グリルで魚を焼いている時、水入れ皿内の脂・調理物が燃えグリル庫内に異常過熱が生じ、ゴムホースがこれに接触して亀裂が入りガスが漏洩して引火したものと推測。更に、取扱説明書には「グリルを使用する時は、グリル水入れ皿に必ず所定の水量の水を入れ、使用中は常に水のある状態を保つ」「ゴムホースを機器の上や下に通さない」という旨の警告をしている。	有	無	山口県			
B2G07-096	2007/08/28	2007/9/18	ガスこんろ (都市ガス用)	当該機器を点火しようとしたところ、バーナー以外のところから炎が出ていた。原因は、点火パイロットバーナー内にくもの巣が張られていて正常に作動せず、メインバーナー以外の箇所から炎が出たため。	無	無	東京都			
B2G07-095	2007/08/18	2007/9/18	ガス瞬間湯沸器 (都市ガス用)	点火した時に一瞬、側面にある給気口から炎がでて、機器内部の多量の埃と配線の一部が焦げた。ガス通路部のガス漏洩は無く、遅点火や消火遅れも無し。原因は、当該機器内に多量の油脂を含んだ埃があった事により、これらが一瞬点火時に炎のあふれに引火したと推測。取扱説明書には、日常点検のポイントに「給気口・排気口を異物や埃で塞いでいないか」という旨の注意喚起をしている。	無	無	神奈川県			
B2G07-094	2007/08/08	2007/9/18	ガス瞬間湯沸器 (開放式・LPガス用)	使用中に、フード部あたりから一瞬、発火して消えた。ガスの漏洩は無く、点火・燃焼状態も正常であり、また、機器内部も埃等の付着無し。炎が上がった原因は不明。尚、設置上の問題として、上方の離隔距離が火災予防条例では10cm以上必要のところ7cmであった事、また、換気扇が無かった事。工事説明書には、離隔距離と換気扇の設置方法について警告している。	無	無	長野県			
B2G07-093	2007/08/07	2007/9/18	ガスこんろ (LPガス用)	標準こんろ側で煮物を調理中、約1時間後に当該機器後面より炎がでた。当該機器にガスの漏洩は無く、燃焼状態も正常であった。外観は機器後方から炎が吹き付けられたと考えらるゴムホース接続口辺りからグリル本体の後面部にかけての後面に焼損跡があった。また、使用されていたゴム管と当該機器との接続部にはガスの漏洩はなし。	有	無	茨城県			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
B2G07-092	2007/07/31	2007/9/18	ガスこんろ (LPガス用)	右標準こんろの点火ボタン部分から発火して、消火器で消火した。多量の煮こぼれが生じた事により、バーナー炎孔が一時的に塞がれ、バーナー口元部から炎があふれたと推測。尚、取扱説明書にて、使用中は機器から離れず正常に燃焼している事を確認頂く旨を注意喚起している。	有	無	青森県			
B2G07-091	2007/07/31	2007/9/18	ガスこんろ (LPガス用)	グリルを使用中に、当該機器に接続してあったガスホースより炎がでたため、濡れ雑巾で消火した。当該機器のガスホース管接続口から機器内部にはガスの漏洩は無く、グリルの燃焼状態も正常であった。グリルを長時間使用した事により水入れ皿に入れられた水分が蒸発し、庫内の油脂分が燃焼しグリル庫内が異常過熱され、器具の下にあったゴム管が接触して亀裂が入りガスが漏洩して引火したと推測。	有(ゴムホース)	無	青森県			
B1G07-090	2007/06/14	2007/9/14	ガスこんろ (都市ガス用)	当該機器のグリル(遮炎装置の装備なし)で魚を焼いている時、魚が燃えてグリル内の脂カに引火し、当該機器の付近が焼損した。消防の見解は、長年にわたって堆積された魚脂への引火によるもので、使用者の「取扱不注意」として調査を終了。	火災	無	北海道			
B1G07-089	2007/06/03	2007/9/14	ガスこんろ (LPガス用)	調理油過熱防止装置(センサー)が装備されていない当該機器で天ぷら油を火にかけ、飼い犬に餌をやるため外に出た間に、燃え上がり木造平屋建て住宅78平方メートルを全焼した。	火災	無	茨城県			
B2G07-088	2007/07/15	2007/9/11	ガス給湯付ふろがま (LPガス用)	使用者からLPG供給事業者へガスが出ないと連絡しLPG供給事業者が訪問したところ、ガスマーターが遮断していた。ガス給湯付ふろ釜付近からガス臭がした。器具内部や周辺への被害は何も有りませんでした。メーカーでガス漏れ検査を行ったがガス漏れは確認できなかった。	無	無	埼玉県			
B1G07-087	2007/06/11	2007/9/11	ガスこんろ (不明:組込型)	使用者がグリルで魚焼をしていたのを忘れて、庭へ出てしまい、その後発火してしまった。	機器の焼損と換気扇、流し台とコンロ下のオーブンレンジの一部焼	無	宮城県			
B1G07-086	2007/06/01	2007/9/11	ガスこんろ (LPガス用)	ガスコンロのグリル、コンロを使用し出かけた後に出火。使用者は、コンロは消火したが、グリルは消火した記憶はない。調査により使用者の火の消し忘れ(不注意)と判断された。	火災	無	静岡県			
B1G07-085	2007/04/30	2007/9/11	ガスこんろ (都市ガス用:卓上型)	コンロから炎が上がっている事に気づき消防へ通報し、家人が消そうとした際、手に軽いやけどを負った。原因はグリル消し忘れによる庫内火災。	1階台所のコンロ付近や天井など約2㎡が燃えた。	火傷(軽症)	新潟県			
B1G07-084	2007/05/24	2007/9/11	ガス衣類乾燥機 (都市ガス用)	足つぼマッサージ用オイルのついたタオルを洗濯し、乾燥していたところ、ガス衣類乾燥機庫内で衣類が焦げているのに気づいた。確認したところ、フィルター及び衣類が焼損していた。事故原因は、オイルが付着したタオルを乾燥し、放置したことによるタオル等に残留しているオイルが酸化熱により発火したものと思われる。取扱説明書でもオイルの付着した衣類等は絶対乾燥機に入れないよう記載しており、消費者の誤使用と判断した。	火災	無	神奈川県	事故原因は、オイルが付着したタオルを乾燥し、放置したことによりタオル等に残留しているオイルが酸化熱により発火したものと思われる。取扱説明書でもオイルの付着した衣類等は絶対乾燥機に入れないよう記載しており、消費者の誤使用と判断した。	A1→B1移行	
B1G07-083	2007/05/20	2007/9/11	ガスこんろ (LPガス用)	木造2階建て住宅より出火して、台所などを焼き、家人1名が顔などに軽い火傷を負った。当該機器のグリルで魚を焼いたまま、火を消し忘れたことによる火災であることから、消費者の不注意と判断した。	火災	有	岩手県	当該機器のグリルで魚を焼いていたまま、火を消し忘れたことによる火災であることから、消費者の不注意と判断した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
B1G07-082	2007/05/30	2007/9/11	ガスこまろ (LPガス用)	当該機器(調理油過熱防止装置なし)から出火し、ウォールキャビネット・壁が焦げた。家人が、天ぷら鍋をかけ、火を点けたまま外出したためと思われる。当該機器には不具合はなく、使用者の火の消し忘れによる火災であることから、消費者の不注意と判断した。	火災	無	長崎県	当該機器には不具合はなく、使用者の火の消し忘れによる火災であることから、消費者の不注意と判断した。	
B1G07-081	2007/05/26	2007/9/11	ガス小型湯沸器 (LPガス用)	台所付近から出火した火災が発生。当該機器には不具合はなく、出火元ではないと判断した。出火の原因は、台所に設置されていたガスこまろの熱による壁面木材からの低温発火の可能性が高い。	火災	有	埼玉県	当該機器には不具合はなく、出火元ではないと判断した。出火原因は、台所に設置されていたガスこまろの熱による壁面木材からの低温発火の可能性が高い。	
B1G07-080	2007/05/11	2007/9/11	ガスこまろ (LPガス用)	調理油過熱防止装置のついていないガスこまろから出火し、当該機器・ガスこまろ置き台・当該機器周辺の床・壁の一部・食器棚の側面が焼損した。当該機器の右側コンロ及びグリルのガス弁が開放状態であったことが確認されていることから、使用者が火を消し忘れたため火災に至ったと思われる、使用者の不注意と判断した。	火災	無	福井県	当該機器の右側コンロ及びグリルのガス弁が開放状態であったことが確認されていることから、使用者が火を消し忘れたため火災に至ったと思われる、使用者の不注意と判断した。	
B2G07-079	2007/08/12	2007/9/6	ガスふろがま (密閉・BF式)	お客様の操作において、操作つまみを口火から風呂に回したとき、風呂バーナーに着火していないと判断され、つまみを「ふろ」の位置から戻しすぎ口火を消してしまった。この状態で、すぐに操作つまみを「ふろ」にしたためメインノズルからガスが機器内に流出し(立ち消え安全装置熱起電力が保持されるため)再度点火操作を行った時、異常着火したものと推定されます。(お客様の誤操作) 取扱説明書では誤ってつまみを戻しすぎ口火を消してしまった場合、つまみを「止」に戻してから点火操作をし直してと記載してあります。	製品の一部破損	無	東京都		
A2G07-078	2007/08/12	2007/9/4	ツーパーナー	ガス缶の接続ホースが損傷し液化石油ガスが漏れ、覗き込む体勢であったため目に入り数日間の視覚障害を負った。また、啾唝に避けようとした際に、後方に置かれていた燃焼器(ランタン)に手が触れ、掌に軽度の火傷を負った。	製品の一部破損	視覚障害 火傷	群馬県		リコール品 (2007/09/11)
B1G07-077	2007/07/03	2007/8/31	ガスこまろ (卓上型)	フライパンをかけたまま、その場を離れた為、火災に至ったもの。	台所の壁(1.6㎡)が燃えた。	手などに火傷を負った。(2名)	岩手県		
B1G07-076	2007/08/15	2007/8/31	ガスこまろ	木造平屋住宅から出火し、全焼。消防は、調理油過熱防止装置(センサー)が付いていない当該機器で天ぷら調理中、その場を離れたのが原因として調査終了。	有	有	佐賀県		
B2G07-075	2007/07/29	2007/8/31	ガスこまろ	赤火の状態では燃焼を続け、点火つまみ部分から炎が出た。原因は、使用中にバーナー内部に入った煮こぼれが経年(20年間使用)により腐食を進行させ、粉・小塊状の錆となり、ガス通路を塞ぎ、バーナーの口元から漏洩したガスに引火したものの。また、取扱説明書には、「使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。」という旨の注意喚起をしている。	製品の一部破損	無	大阪府		
B1G07-074	2007/08/10	2007/8/24	ガスこまろ	二階建て店舗兼住宅から出火し、一階台所の天井と壁の一部を焼損。消防は、調理油過熱防止装置(センサー)が付いていない当該機器で天ぷら鍋をかけたのが原因として調査終了。	有	有	福井県		
A2G07-073	2007/08/07	2007/8/24	ガスこまろ	当該機器が収納されているキャビネットの扉を開けて物を取り出そうとした際に、当該機器底面のガス用バーリング孔(下向き)の端面に右手甲が接触し裂傷した。	無	有	兵庫県		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
A2G07-072	2007/07/10	2007/8/24	ガス小型湯沸器 (開放式)	点火ボタンを押し出湯後、つまみを水の位置にし水を使用、その後つまみを湯の位置にしたところ異常着火した。	無	無	静岡県			
B2G07-071	2007/08/01	2007/8/21	ガス湯沸器	当該機器の水抜栓兼安全弁から熱湯が出て、手に軽い火傷を負った。水抜栓兼安全弁は、機器内に高い圧が生じた場合の安全弁の役割もあり、支障のない所へ排水できるように付属部品としてビニールホースを付けているが、当該機器は、ビニールホースが取り付けられていなかった。	無	有(軽い火傷)	長崎県			
B2G07-070	2007/07/15	2007/8/21	ガス炊飯器	点火確認窓に顔を近づけ点火操作をしたところ、点火窓から炎があふれ出し、眉毛とまつ毛を火傷した。本件の使用者は、炊飯が終わると必ずガスコックから当該機器を取り外し、別の場所に移動していたとの事。このため、使用開始時は、ホースの中のガスは希薄になっていた。また、取扱説明書で、点火操作時は点火確認窓に顔を近づけない旨の注意喚起している。	無	有(軽い火傷)	北海道			
B2G07-069	2007/06/19	2007/8/21	ガスこんろ	使用者の申し出では、「当該機器の調理油過熱防止装置(センサー)のないこんろ側で、じゃがいもを煮ている途中、火力調節レバーを強付近から中付近に絞ったところ、爆発音とともに一瞬大きな炎に包まれた」との事。検品結果、当該機器にガス漏洩が無い事と燃焼状態が良好である事を確認した。	無	無	静岡県			
B2G07-068	2007/05/29	2007/8/21	ガス湯沸器	当該機器の背面中央部に変色があった。原因は、インナーケース内部の断熱材の一部に、フィン掃除時に発生させたと考えられる剥れがあり、そこから燃焼熱が漏れ、背面に熱が伝わって変色に至ったと推測。	有	無	北海道			
B1G07-067	2007/07/13	2007/8/20	ガストーブ (LPガス:赤外線)	お客様がストーブの上で洗濯物を乾燥させていたところ洗濯物が赤外線ストーブの上に落下し引火。消防署に連絡し、その後、団地に備えつけられている消火器で消火した後、消防署が到着し消火を確認した。	有	有	埼玉県			
B1G07-066	2007/06/30	2007/8/20	ガスこんろ (卓上型)	コンロにて過熱防止装置の付いていないバーナー側で天ぷら調理を行い、その場を離れた為、油が過熱し火災に至ったもの。	住宅の一部(15㎡)が燃えた。また、隣接する住宅2棟の壁等も一部焼けた。	無	兵庫県			
A2G07-065	2007/06/22	2007/8/17	ガス温風暖房器 (FF式)	お客様よりガス臭いとの連絡が入りガス事業者様が現場に急行されガスインレット部のシール部の確認と応急処置を行ったと連絡をいただき、同日お客様へ謝罪と内容確認、原因調査の為、お客様にご了承を頂き製品の回収を行いました。返却製品には応急処置が施されていたので、ガス洩れ原因の特定は出来ませんでした。	無	無	岩手県			
B2G07-064	2007/03/09	2007/8/17	ガスこんろ (組込型)	コンロにて豆乳を調理中、爆発の様な現象が起き、ごとくおよびバーナーが変形した。	こんろの一部	打撲	鳥取県			
B2G07-063	2007/07/03	2007/8/14	ガスこんろ	点火つまみ及び配線の焼損と天板裏に焼損痕を確認した。再現テストでは、受け皿を左右逆にした状態で1時間ほど燃焼すると、今回の事故状況に似た現象が再現できた。	有	無	東京都			
B2G07-062	2007/05/29	2007/8/14	ガスこんろ	左右コンロに鍋を加熱中、約5～10分後に左コンロ奥より発火し、そのままコンロ下側へ延焼。使用者が自ら消火した。また、当該機器の後方に新聞紙が敷いてあった。	有	無	千葉県			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
A2G07-061	2007/07/30	2007/8/14	ガス給湯付ふろがま (屋外設置据置型)	使用者よりガス臭がするのでガス事業者に連絡した。器具本体外装の膨らみとバーナからガス流出を確認した。器具のコンセントを抜くとガス流出は止まった。器具内部焼損はありませんでした。	無	無	愛知県			
B1G07-060	2007/07/18	2007/8/8	ガスこんろ	当該機器にて揚げ物調理中に揚げ油より出火。機器の一部と換気扇を焼損、およびこんろ周辺の壁をこがした。調理油過熱防止装置が付いていない側のこんろで調理されていた模様。消防の見解は、使用者の不注意による事故。	有	無	東京都			
B2G07-059	2007/03/06	2007/8/8	ガス給湯暖房用熱源機	・当該機器から煙がでていたため消防に通報。その後自然鎮火火災には至らなかった。 ・ガス事業者が機器内部を確認すると暖房タンクが焼損し周辺ハーネスの一部に焼損の跡があった。	機器内部の部品 焼損	無	大阪府			リコール品 (2007/07/27)
A2G07-052	2007/06/下	2007/8/6	LPガスランタン	当該製品を点灯中、本体下部カラー付近にてガス漏れが起こり、異常燃焼が発生した。	無	無	北海道			リコール品 (2007/07/27)
A2G07-051	2007/05/04	2007/8/6	LPガスランタン	当該製品を点灯中、本体下部カラー付近にてガス漏れが起こり、異常燃焼が発生した。	無	無	埼玉県			リコール品 (2007/07/27)
A2G07-050	2007/04/20	2007/8/6	LPガスランタン	当該製品を点灯中、本体下部カラー付近にてガス漏れが起こり、異常燃焼が発生した。	無	無	滋賀県			リコール品 (2007/07/27)
B2G07-049	2007/06/15	2007/7/31	ガスこんろ	「使用者からの通報で、当該機器を中火でソーマンを茹でていたら、突然炎が大きくなった」との連絡があり、ガス供給事業者が調査したところ、当該機器にガス漏洩は無く、燃焼状態も正常。弊社で、実際にソーマンを茹でて再現したところ、煮こぼれが生じたときに、煮こぼれた反対側から、一時的に炎が鍋の上端あたりまで上がる現象が認められた。	無	無	群馬県			
B1G07-048	2007/05/18	2007/7/30	ガスこんろ (組込型)	グリルで魚を焼いたまま外出したため、住宅が全焼する火災となった模様。	家屋全焼	無	山梨県			
B1G07-047	2007/04/22	2007/7/27	ガスこんろ (卓上型)	天ぷら鍋をかけたままその場を離れた為、鍋の油が過熱して火災に至ったとみている。	台所の壁を燃やした	無	宮城県			
B1G07-046	2007/06/09	2007/7/27	ガス給湯付ふろがま	シャワー使用中お湯が出なくなり、機器リモコンはエラーコードが表示されていた。スイッチの入切を再三繰返した結果、排気口から煙と炎が出た。	機器本体にスス 付着のみ	無	埼玉県	火災ではないと判明したため、重大製品事故としては扱わないこととなった。		
A2G07-045	2007/07/19	2007/7/26	ガス給湯付ふろがま (屋外式据置型)	点検作業で、ガス2次側のガス通路部のビスを締め付け不十分の為にガス漏れが発生した。着火時に温度ヒューズが溶断し元ガス電磁弁が作動した。	器具内部品の一部 部損傷	無	神奈川県			リコール品 (2007/06/09)
A2G07-044	2007/07/12	2007/7/26	ガス給湯付ふろがま (屋外式据置型)	自主点検作業で交換した部品の、ガス通路部に有るリングが噛み込みガスを微量漏れし、着火時に異常燃焼を起こした。	器具フロントカ バーの歪み	無	神奈川県			リコール品 (2007/06/09)
A2G07-043	2007/07/08	2007/7/23	ガスバーナー付ふろがま (屋外式)	販売店様より風呂釜が点火せず焦げ臭い臭いがするとの通報がある。修理サービスが機器を確認したところ機器内部が焼損していた。	有	無	鹿児島県			リコール品 (2007/04/19)
A2G07-042	2007/06/12	2007/7/23	ガスバーナー付ふろがま (屋外式)	お客様より「風呂釜の着きが悪いので点検、修理して欲しい」との連絡が入る。同日サービスが訪問、風呂釜を確認したところ本体が変色しており内部が焼損していた。	有	無	鹿児島県			リコール品 (2007/04/19)
A2G07-041	2007/06/12	2007/7/23	ガスバーナー付ふろがま (屋外式)	お客様より「昨晚、風呂釜から煙が出ていたので点検して欲しい」また「DMも入っていたので見て欲しい」との連絡が入る。サービスが訪問、風呂釜本体が変色しており内部を確認したところ焼損していた。	有	無	鹿児島県			リコール品 (2007/04/19)

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
A2G07-040	2007/06/12	2007/7/23	ガスバーナー付ふろがま (屋外式)	入浴時窓から白煙が上がっていた為、機器を確認すると出火しており水をかけ消火し、ガスコックを閉めた。	有	無	高知県			リコール品 (2007/04/19)
A2G07-039	2007/06/04	2007/7/23	ガスバーナー付ふろがま (屋外式)	「風呂釜から煙が出ている」とお客様が来店された。サービスが現場到着時には火は消えていた。風呂釜本体が変色しており内部を確認したところ焼損していた。	有	無	鹿児島県			リコール品 (2007/04/19)
A2G07-038	2007/05/16	2007/7/23	ガスバーナー付ふろがま (屋外式)	夜不具合発生。翌日にお客様より昨晩はお風呂のお湯を沸かすことができたが、その後電池を交換しても電源が入らないとの連絡が入る。サービスが訪問したところ赤火燃焼しており、またハーネスがこげていた。	有	無	長崎県			リコール品 (2007/04/19)
A2G07-037	2007/05/07	2007/7/23	ガスバーナー付ふろがま (屋外式)	お客様より「最初は着火したが、二度目は着火しない」との連絡が入る。翌日、現場を訪問し風呂釜を確認したところ機器内部が焼損していた。	有	無	佐賀県			リコール品 (2007/04/19)
A2G07-036	2007/05/07	2007/7/23	ガスバーナー付ふろがま (屋外式)	お客様より「風呂釜の底に発砲スチロールが入り火が着いたので見て欲しい」との通報が入る。サービス店が訪問したところ風呂釜本体が変色しており内部が焼損していた。発砲スチロールは釜の熱で溶けたものと推測される。	有	無	鹿児島県			リコール品 (2007/04/19)
B1G07-035	2007/04/07	2007/7/23	特定液化石油ガス器具等ふ ろバーナー	木造一部二階建てのトタンぶき屋根約70平方メートルを焼いた。同日17時10分頃風呂に点火、15分後に風呂場南側のよすがが燃えているのに気付いた近所の人が消防署に通報した。	有	無	栃木県			
B1G07-034	2007/06/30	2007/7/20	ガスこんろ	二階建て店舗兼住宅から出火し、1階住宅部分を焼損。消防は、調理油過熱防止装置(センサー)のついていない当該機器で、天ぷら鍋をかけたのが原因として調査終了。	有	無	岐阜県			
B2G07-033	2007/06/21	2007/7/13	ガスこんろ	やかんのをせ、点火後、当該機器の背面に接近してあった換気扇のスイッチ(紐)を入れようとした時に衣類に着火した。	有(衣類)	無	東京都			
B1G07-032	2007/06/19	2007/7/13	ガスこんろ	木造平屋の住宅1棟が全焼。使用者が背中などに軽い火傷を負った。消防より、出火元は台所であるが、当該機器に関するものかどうかは不明。	有	有	鹿児島県			
B1G07-031	2007/05/17	2007/7/6	ガスこんろ	住宅兼店舗で、台所のコンロから煙が出て、家人1人が煙を吸ってのどに軽い火傷を負った。家人は火傷を負いましたが即日退院しています。	不明	有	富山県			
B1G07-030	2007/04/06	2007/7/6	ガスこんろ	住宅から出火し、台所の天井を焦がした。消防の調査によると、ガスこんろに天ぷら鍋をかけたまま放置したため、鍋の油が過熱し、火災に至ったものである。なお、過熱防止装置がないバーナー側で調理していた模様。	天井の焼損	無	岩手県			
B1G07-029	2007/06/28	2007/7/6	ガスこんろ	当該機器の調理油過熱防止装置(センサー)のついていないこんろ側で、天ぷら鍋をかけた後、台所の換気扇、天井、及び隣接する浴室の天井が焼損した。	有	無	愛媛県			
A2G07-028	2007/06/18	2007/7/6	ガスこんろ	ケリル取手組立のビスを3本はずし、樹脂製取手とステンレス板2枚に分解して洗っていたところ、ステンレス板で小指の付け根を約1cm裂傷。	無	有	北海道			
A2G07-027	2007/06/11	2007/7/6	ガス焼物器 (業務用)	焼き鳥を焼いていたところ、突然右側のガラスが「ボン」と大きな音とともに割れ、ガラスの破片が周囲に飛び散り、左手の親指と人差指の間の甲の部分に約2.5cm裂傷した。	有	有	埼玉県			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
B2G07-026	2007/06/09	2007/7/6	ガスこんろ	グリル内でポテト(アルミホイルで包んで)を焼いていたところ、突然グリル扉のガラスが割れた。	有	無	京都府			
B1G07-025	2007/06/08	2007/7/3	ガス炊飯器	当該機器と接続しているゴム管の接続部から漏洩したとみられるガスに引火。当該機器のガス漏洩は認められなかった。	有	無	大阪府			
B1G07-024	2007/05/28	2007/7/3	ガスレンジ	揚げ物を調理中に子供に呼ばれたので、その場を離れようとしたが、その際ナベに引っ掛かり出火。	有	無	東京都			
B1G07-023	2007/05/20	2007/7/3	ガス衣類乾燥機	当該機器の運転終了後、お客様が焦げ臭い臭いを感じ、当該機器ドラム内のタオル等が焦げて、火の粉が見えた。原因はオイルが付着したタオルを乾燥し、放置したことによる。	有	無	東京都			
A2G07-022	2007/06/19	2007/7/2	ガス炊飯器	お客様から炊飯器使用中に、炊飯器接続部から火が出たので調査してほしいとの通報を受け、調査した結果、炊飯器接続部のガスコード付近及び炊飯器本体の外面部分の焼損を確認した。なお、弊社にて炊飯器を調査いたしましたが、ガス漏れはなく製品に異常は見られませんでした。	有	無	大阪府			
A2G07-021	2007/06/16	2007/7/2	ガス給湯付ふろがま	使用者から修理依頼があり訪問し、フロントカバーを開けたところ器具内部が焼損していた。	器具内部の一部 破損	無	新潟県			リコール品 (2007/06/09)
A2G07-020	2007/06/10	2007/7/2	ガス給湯付ふろがま	家人が入浴され、ふろ追焚操作をしたところボンと云う音がして家の配電盤用ブレーカが落ち、戻して入浴したところ異臭と煙を確認した。	一部破損	無	神奈川県			リコール品 (2007/06/09)
A2G07-019	2007/05/10	2007/7/2	ガス給湯付ふろがま	入浴していたらリモコン表示が消えて器具が使用できなくなった。翌日、家人が器具のフロントカバーを開けると器具内が焦げていた。	一部破損	無	群馬県			リコール品 (2007/06/09)
A2G07-018	2007/05/06	2007/7/2	ガス給湯付ふろがま	買い換えで引き取った器具をスクラップにしようとしてフロントカバーを開けたところ器具内部の焼損を確認した。	器具内部の一部 破損	無	茨城県			リコール品 (2007/06/09)
A2G07-017	2007/04/28	2007/7/2	ガス給湯付ふろがま	お客様が入浴中に異臭がした為本体を見た所、本体より煙が出ていた。	一部破損	無	長野県			リコール品 (2007/06/09)
B2G07-016	2007/05/26	2007/6/28	焼肉器	何かの弾みで焼肉のタレを受ける水槽が落下し、両足首を中心に火傷を負った。	無	火傷	香川県			
B2G07-015	2007/05/26	2007/6/26	ガスこんろ	当該機器の中に煮こぼれをしたため、掃除しようとしてトッププレートを外し、内部を拭いていたところ、本体枠上部の折り曲げ部で指を裂傷した。	無	軽いけが	埼玉県			
A2G07-014	2007/06/18	2007/6/22	ガス給湯付ふろがま	器具内部焼損、ふろガスガバナからの漏れは確認できず、ふろバーナーからの炎あふれの原因を調査中。	一部破損	無	千葉県			リコール品 (2007/06/09)
A2G07-013	2007/06/10	2007/6/22	ガス給湯付ふろがま	器具内部焼損	一部破損	無	神奈川県			リコール品
A2G07-012	2007/05/10	2007/6/22	ガス給湯付ふろがま	器具内部焼損	一部破損	無	群馬県			リコール品
A2G07-011	2007/04/28	2007/6/22	ガス給湯付ふろがま	器具内部焼損	一部破損	無	長野県			リコール品
B2G07-010	2007/06/15	2007/6/21	ガスこんろ	当該機器に鍋をかけた肉を炒めている最中に、油を鍋にいれたところ炎が上がリ、また、こんろに敷いてあったシートの裏面の紙テープが燃えた。ガス供給事業者と消防の見解では、ガス漏れ・点火不良がない事を確認し、使用者が、油を入れた際、油が鍋を伝って下に落ち、引火したものと推測。	こんろに敷いて あったシートの裏面 の紙テープが焼損	無	島根県			
B2G07-009	2007/06/05	2007/6/21	ガス開放式瞬間湯沸器	使用者が当該機器をホームセンターで購入し、無資格の使用者本人が取り付け使用しようとした際、接続部からガス漏れ出火して、本体にすずがついた。原因は、無資格の使用者が、ガスの接続にゴムホースを使用したため。	本体にすず付着	無	福島県			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
A2G07-008	2007/05/24	2007/6/21	ガスこんろ	鉄筋3階建てビルの店舗から出火して、同店舗の天井や壁約3平方メートルを焼き、店員1名が煙を吸い軽いけがを負った。消防の見解は、調理油過熱防止装置(センサー)のついていないガスこんろで、冷たいかリングを揚げ調理中の消し忘れが原因として調査終了。	機器全損	軽いけが	愛知県			
B1G07-007	2007/03/19	2007/6/18	ガスこんろ (焼損により不明)	台所から出火して壁や天井約9平方メートルを焼いた。使用者がてんぷら鍋に火を付けたまま10分ほど目を離れた間に発火。消防の見解は、当該機器には、調理油過熱防止装置はついておらず、また、使用者が、てんぷら鍋に凝固剤を入れ、火をつけたまま放置したのが原因との事。	焼損	無	栃木県			
A2G07-006	2007/04/10	2007/6/14	ガスバーナー付ふろがま (BF式)	お客様が浴槽の水を焚き初めてから5分位した時に、点火窓から普段より大きい赤色の炎が見えたため、ガス栓を止め消火したとのこと。(お客様に当時の状況を問診した結果)	機器一部焼損	無	東京都			
B2G07-005	2007/05/12	2007/6/14	開放式瞬間湯沸器	当該機器で手を洗っていた時に、当該機器の側面にある給気口に密着してあったタオルが発火、タオル及び換気扇スイッチ用のひもを焼損した。調査結果、燃焼状態は正常であったが、機器内に綿埃の付着が多く、原因は、点火時、炎が給気口からあふれ出た場合に、給気口に付着した綿埃に引火してタオルが発火したものと推測します。	無	軽度の火傷	東京都			
B2G07-004	2007/05/23	2007/5/28	ガスこんろ	グリル排気口から火が出て、壁のタイルにすすがついた。	一部破損	無	和歌山県			
A2G07-003	2007/05/18	2007/5/28	ガス給湯付ふろがま	消費者から、使用していないのに当該機器が作動して異臭がし、当該機器が熱くなっている旨を、消防とLPガス納入業者に通報した。また、消防が警察に連絡。	無	無	京都府			
A2G07-002	2007/05/08	2007/5/28	ガスこんろ	コンロバーナー一部でグリル付属の焼き網を使い、魚焼き(特異な使用)をされていたため、魚からの油・塩分等が機器内に入る。また、通常コンロ使用時、煮こぼれ等で煮汁等腐食成分が機器内に入る。上記状況により、コンロバーナーの1つが煮汁等で火が着かない状況でありながら、残りのバーナーのみライターで着火し使用していた。以上により、煮汁等の腐食物がガス管に滴下し、腐食され、ガス管に穴が空きガス漏れし、着火したと推定する。	一部破損	無	京都府			
A2G07-001	2007/03/06	2007/5/28	ガス給湯暖房機	機器内部の焼損のみ(暖房タンク、器内配線の一部焼損)	製品被害あり 一部焼損	無	大阪府			リコール品 (2007/07/27)
A2G0600001	2006/10/26	2009/11/18	ガスこんろ (都市ガス用:組込型)	お客様がコンロの点火ボタンを押した際に、右手小指を点火ボタンの裏側で切り、ケガをされたとの事。	無	軽傷1名 (指のケガ)	神奈川県			
B2G0500001	2005/02/28	2007/8/8	ガス給湯暖房用熱源機	・当該機器使用者よりガス事業者へ修理依頼があり、ガス事業者が機器内部を確認すると暖房タンクおよび周辺ハーネスの一部に焼損の跡があった。	機器内部の部品 焼損	無	大阪府			リコール品 (2007/07/27)
B2G9900001	1999/04/23	2007/8/8	ガス給湯暖房用熱源機	・当該機器使用者よりガス事業者へ修理依頼があり、ガス事業者が機器内部を確認すると暖房タンクおよび周辺ハーネスの一部に焼損の跡があった。	機器内部の部品 焼損	無	京都府			リコール品 (2007/07/27)
B2G9800001	1998/12/27	2007/8/8	ガス給湯暖房用熱源機	・当該機器から煙がでていたため消防に通報。その後自然鎮火火災には至らなかった。 ・ガス事業者が機器内部を確認すると暖房タンクが焼損し周辺ハーネスの一部に焼損の跡があった。	機器内部の部品 焼損	無	大阪府			リコール品 (2007/07/27)

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況 物的被害	人的被害	事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
B2G9700002	1997/09/30	2007/8/8	ガス給湯暖房用熱源機	・当該機器使用者よりガス事業者へ修理依頼があり、ガス事業者が機器内部を確認すると暖房タンクおよび周辺ハーネスの一部に焼損の跡があった。	機器内部の部品 焼損	無	大阪府			リコール品 (2007/07/27)
B2G9700001	1997/03/27	2007/8/8	ガス給湯暖房用熱源機	・当該機器使用中に機器よりの異臭に気づき、機器を停止しガス事業者へ修理を依頼。 ・ガス事業者が機器内部を確認すると暖房タンクおよび周辺ハーネスの一部に焼損の跡があった。	機器内部の部品 焼損	無	大阪府			リコール品 (2007/07/27)
B2G9600001	1996/02/19	2007/8/8	ガス給湯暖房用熱源機	・当該機器使用中に配電盤の漏電ブレーカが作動したので、機器を確認すると煙がでていた。 ・ガス事業者が機器内部を確認すると暖房タンクおよび周辺ハーネスの一部に焼損の跡があった。	機器内部の部品 焼損	無	大阪府			リコール品 (2007/07/27)

注:

・発生年にあわせ管理番号を変更し移動した。(10.09.13)

B2G07-053⇒B2G9600001 / B2G07-054⇒B2G9700001 / B2G07-055⇒B2G9700002 / B2G07-056⇒B2G9800001 / B2G07-057⇒B2G9900001 / B2G07-058⇒B2G0500001 / A2G0900147⇒A2G0600001

・過去4年間の経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果等を反映した。また、これに合わせ重複データのチェックを行った(10.11.05)

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故